

令和3年度決算付属資料

- I 主要な施策の成果に関する説明書
- II 基金の運用状況を示す書類

(参考資料)

令和3年度決算における新型コロナウイルス感染症の
影響額について

武蔵野市

I 令和3年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、令和3年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

武蔵野市長 松下玲子

はじめに、新型コロナウイルス感染症について、お亡くなりになられた方に心よりお悔やみ申し上げるとともに、ご冥福をお祈りします。また、多くの方々による長期間にわたる感染拡大防止の取組みに深く感謝申し上げ、これまでに感染された方、今なお後遺症に悩まされている方々にお見舞い申し上げます。本市では、令和2年1月に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して以降、市民のいのちと暮らし、経済を守り、安心と活力を取り戻すことを第一に、国や東京都の施策に加え、本市独自の施策を織り交ぜつつ、市民に最も身近な基礎自治体としての役割を果たすべく努めてまいりました。

令和3年1月には、新型コロナウイルスワクチン接種推進本部を設置し、武蔵野市医師会などの関係機関との連携や予約方法などの工夫を重ね、円滑かつ速やかにワクチン接種を進めました。感染リスクの高い医療従事者の方、重症化リスクの高い高齢者の方や基礎疾患のある方などの接種促進をはじめ、現在では若年層にまで接種が進んでおり、市民の皆様のご理解、ご協力に重ねて感謝申し上げます。

令和3年度は、当初予算を「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 命を守り次世代へつなぐ予算」と位置付け、武蔵野市第六期長期計画の2年目として、長期計画に掲げられた各分野の施策を推進するとともに、新たな行政課題にも柔軟に対応し、また、限られた財源を重点的かつ効率的に予算配分することを基本とし、市民福祉の向上に努めてまいりました。

しかしながら、令和3年4月25日から6月20日まで、同年7月12日から9月30日までの新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出や年度末にかけての感染者数の急増などを受けて、事業、イベントの中止や縮小、計画の変更が余儀なくされました。こうした状況にあっても、ICTを活用した大韓民国ソウル特別市江東区の中高生とのオンライン交流の実施、「武蔵野桜まつり」の動画配信など、これまでになかった取組みに挑戦しました。また、市民生活支援と事業者支援とを両立させる本市独自の取組みである「武蔵野市暮らし地域応援券」の第2弾を発行し、本市在住の市民全員に配付しました。さらに、地域性に応じた本市独自の事業である「中小企業者等特別支援金」などを実施し、「月次支援金」や「感染拡大防止協力金」などの国や東京都の支援策のみでは行き届かない部分への支援を行いました。

武蔵野市医師会の各医療機関へパルスオキシメーターなどの配備支援を行うとともに、電話、オンライン又は訪問による診療を行う医療支援体制を整備しました。また、令和3年2月1日に開設した自宅療養者支援窓口を同年9月1日に新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援センターに改称し、自宅療養者などに対する食料品・日用品などの支援を充実させました。

令和4年2月24日には、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻が開始され、多くの尊い命が失われています。ロシア連邦に対し遺憾の意を示すとともに、一刻も早い停戦、撤退及び平和的解決を求める抗議をしてまいりました。これにとどまらず、3月には市民の平和意識醸成のため、ウクライナ民族楽器奏者による「平和を願うミニコンサート」の開催やウクライナ支援の募金活動などに取り組みました。

次に、令和3年度の一般会計歳入歳出決算の概要を申し上げます。

歳入決算額は808億4,087万9千円で、前年度と比べ73億6,363万2千円、8.3%の減となりました。前年度比では減となりましたが、これは特別定額給付金事業に係る補助金147億9,353万7千円や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2億2,568万4千円といった国庫支出金の減によるものです。一方で、子育て世帯等臨時特別支援事業に係る補助金14億1,738万3千円、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業に係る補助金12億7,069万5千円、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る負担金、補助金23億8,066万8千円などの国庫支出金が年度途中に生じたことで当初予算695億3,900万円と比較すると大幅な増となっています。

市税収入は、399億2,837万6千円で、前年度と比べ18億9,504万7千円、4.5%の減となりました。法人市民税は、法人税割の税率が下がったことにより前年度と比べ8.9%の減、都市計画税については新型コロナウイルス感染症による経済的影響を考慮し、税率を通常は0.2%のところ令和3年度に限り0.1%としたことにより50.1%の減となりました。また、新型コロナウイルス感染症対策事業の実施などの財源として財政調整基金から5億円の繰入れを行ったほか、投資的経費の増に伴う基金繰入金の増により、繰入金全体では前年度と比べ3億4,751万9千円の増となりました。市債は新学校給食桜堤調理場（仮称）建設事業に伴う借入れの増などにより、前年度と比べ15億8,000万円の増となっています。

歳出決算額は769億9,867万円で、前年度と比べ69億3,139万2千円、8.3%の減となりました。歳入と同様、特別定額給付金事業147億8,639万9千円や子育て世帯臨時特別給付金事業1億1,834万1千円などに代わり、子育て世帯等臨時特別支援事業12億7,000万8千円、住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業12億5,437万9千円を実施しました。加えて、新型コロナウイルスワクチン接種事業17億6,479万5千円などのほか、くらし地域応援券事業の第2弾、8億5,388万3千円の実施により、当初予算との比較では大幅な増となっています。

費目別では、新型コロナウイルス感染症に係る経済支援策である子育て世帯臨時特別支援事業や住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業などの増により、扶助費が前年度と比べ26億7,013万1千円、15.1%の増、投資的経費は新学校給食桜堤調理場（仮称）建設工事や公園等建設事業土地購入費の増などにより、前年度と比べ23億26万4千円、58.4%の増となりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策や経済支援策などに取り組みつつも、国及び都支出金の確保、世代間の負担の公平性や後年度の財政負担などに配慮したうえでの市債の活用、基金の取崩しなどにより必要な財源を確保し、適正な財政運営に取り組んでまいりました。

令和3年度の歳入歳出差引額は38億4,220万9千円、次年度への繰越財源2,612万7千円を除いた実質収支額は、38億1,608万2千円、前年度比4億5,836万7千円、10.7%の減となりました。

現在の財政状況は健全な水準を維持しているといえますが、長期的な視点では人口構成の変化が予測されており、市税などの歳入は減少する懸念がある一方で、歳出では社会保障費にあたる扶助費や保険給付費の増加、老朽化した公共施設及び都市基盤の更新費用な

どの増加が見込まれています。限りある財源を活用して持続可能な市政運営を進めていくとともに、第六期長期計画に掲げられた事業を着実に実施し、「誰もが安心して暮らし続けられる 魅力と活力があふれるまち」であり続けられるよう、引き続き取り組んでまいります。

以下、令和3年度の主要な施策の成果について申し上げます。

1 健康・福祉分野の成果

【まちぐるみの支え合いを実現するための取組み】

令和2年度で事業開始から20年を経過したレモンキャブ事業については、新型コロナウイルス感染症対策として通院などの利用に限定した特例運行を継続して実施しました。また、延期となっていた20周年記念事業も開催しました。

障がい者の権利を守る取組みとして、親なき後に備えておくことの重要性や成年後見制度についての普及啓発に資するため、「親なき後講座事業」を行いました。また、障がい者差別解消のため、心のバリアフリー啓発事業を実施しました。

武蔵野市国民健康保険データヘルス計画に基づき、特定健康診査の未受診者に対して、被保険者ごとに適した勧奨通知によって受診率の向上を図りました。

【生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化】

在宅で常時人工呼吸器を使用する難病患者などに対し、災害時の個別支援計画を作成することで、関係機関との情報共有を図り、災害時の具体的な支援体制の構築を行いました。

高度急性期医療、三次救急医療機関及び災害拠点病院の役割を担う武蔵野赤十字病院に対して、病棟の建替えに伴うがん医療対策や周産期医療などのさらなる充実や感染症病棟の設備改修工事に係る経費補助の支援を行いました。

国の指示のもと、新型コロナウイルス感染症に係る特例的な臨時予防接種を実施しました。初回接種（1・2回目）、第1期追加接種（3回目）及び小児接種を集団接種会場及び個別接種会場にて実施しました。また、令和4年度に開始する第2期追加接種（4回目）の接種体制の確保に向けた準備を行いました。

【安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実】

ひきこもり相談を含めた福祉総合相談窓口を令和3年4月に開設し、多様かつ複合的な課題を抱える方からの相談窓口を明確化するとともに、分野横断的に関係機関と連携し、包括的・継続的に課題解決に向けた支援を行ってまいりました。

多様な課題を抱えた生活困窮者に対し、早期自立に向けて、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症などの影響による生活困窮者への支援として、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金、生活困窮者住居契約更新料給付金及び生活困窮者特別就職支援金を支給しました。

加えて、令和3年11月に閣議決定された「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の趣旨を踏まえ、住民税非課税世帯等に対し1世帯当たり10万円の給付金支給事業を実施しました。ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方が急病などで一時的に支援が必要な場合にヘルパーを派遣し、入浴介助などの身体介助や生活援助のサービスを提供しました。

【福祉人材の確保と育成に向けた取組み】

地域包括ケア人材育成センターにおいて、人材養成、研修・相談、就職支援、事業者・団体支援の4つの事業を一体的に展開し、福祉サービスを担う人材の確保及び育成や質の向上を図りました。

新型コロナウイルス感染症の影響による雇用対策と介護・障がい分野の人材不足への対応のため、介護職・看護職R eスタート支援金として新たに市内の介護施設や障がい者施設などに就職した介護職員及び看護職員への支援金を給付し、人材確保につなげました。

【新しい福祉サービスの整備】

特別養護老人ホームのユニット型個室の利用料は経済的に高負担となる傾向があることから、利用料が比較的抑えられる多床室などを整備する事業者に対して、施設整備に係る支援を行いました。

東京都との合築施設である吉祥寺ナーシングホームについて、今後見込まれる老朽化に伴う大規模修繕工事に対応していくため、令和元年度に東京都が実施した建物状況調査の結果に基づき、東京都と連携して基本計画を策定しました。

武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会を設置し、今後のセンター業務のあり方などについて検討を行い、旧なごみの家と障害者福祉センターの敷地を一体として建替えを行う方針を決定しました。

2 子ども・教育分野の成果

【子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり】

今後の子どもと子育て家庭への支援のあり方について、複合施設の必要性や支援の仕組みについて、有識者会議を設置し検討を行い、令和3年12月に検討結果の報告書を取りまとめました。

令和2年12月に開設した障害児通所支援施設「武蔵野市放課後等デイサービス パレット」において、肢体不自由児や医療的ケア児へ安定した支援を行うため、施設の人員体制の強化を図りました。

子ども・子育て支援事業については、「共助による子育てひろば事業」や当事者ボランティアの育成や支援者のつながりを目的としたボランティア養成講座を開催し、多様な主体による子育て支援の充実を図りました。また、切れ目のない支援の入り口である「ゆりかごむさしの面接」を行った妊婦に対して「子ども・子育て応援券」を配付しました。新型コロナウイルス感染症への対応のため、特設のホームページを開設し、健康課所管の「ゆりかごむさしのフェスティバル」と合同で、オンラインによる「子育て・ゆりかごむさしのフェスティバル」を開催しました。

【安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援】

令和3年4月診療分から高校生等の入院医療費に係る保険診療自己負担分の助成を開始し、子どもの保健向上と子育て家庭の経済的な負担軽減を図りました。また、高校生等の通院等医療費助成の開始に向けて、対象者に周知するとともに、関係機関との調整を行いました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、子育て世帯生活支援特別給付金事業や子育て世帯等臨時特別支援事業といった国の事業を行ったほか、国の特別定額給付金事業及び都の出産応援事業のいずれにも対象とならなかった児童を養育する世帯に対して、本市独自の子ども子育て支援特別給付金を支給しました。

【子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実】

子ども・子育て支援を行う民間団体からの相談対応や活動助成のほか、本市及び民間団体とのネットワーク構築、学齢期以降の子どもの相談支援情報誌の発行やホームページなどを活用した情報発信を行い、地域の民間団体との連携による仕組みの構築及び複合的な支援を行い、子どもの支援に係る地域連携の強化を図りました。

期末報償金補助金の創設による保育士などの処遇改善の取組みを行うとともに、職員用の宿舍借上げ及び保育補助者の雇用を行っている事業者に対する補助など、国や東京都の制度を活用して保育人材の確保、定着及び離職防止を目的とした支援を行いました。

【子どもの「生きる力」を育む】

令和2年度に整備した学習者用コンピュータについて、児童生徒数の増加に伴う追加整備を実施したほか、学校での授業では発達段階にあわせた活用計画やデジタル・シティズンシップ教育の考え方を検討し、各教員の工夫のもとで学習者用コンピュータを活用した様々な授業実践が行われました。

スクールソーシャルワーカーを中心に不登校対策を推進するとともに、不登校児童生徒を支援するチャレンジルームを運営し、むさしのクレスコーレの運営体制を強化しました。

特別支援教育の周知と理解促進のため、特別支援教室及び通級指導学級の紹介動画を市ホームページに掲載するとともに、令和2年度から特別支援学級設置小学校に配置した交流共同学習支援員を特別支援学級設置中学校にも配置し、通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習の機会拡充を図りました。

【教育環境の充実と学校施設の整備】

武蔵野市学校施設整備基本計画に基づき、第一中学校及び第五中学校について、改築懇談会委員、学区内在住者、保護者、教職員などの意見を踏まえ、基本設計を完了させました。加えて、第五小学校及び井之頭小学校の改築に向け敷地条件を整理し、設計者選定の準備を整えました。

授業の質の向上と教員の働き方改革の取組みとして、市講師や学習指導補助員の配置による教員の持ち時数削減及び学習指導補助などを行いました。特に小学校においては、単独で教科指導を行うことのできる市講師が学級担任に代わって専門教科についての授業を行いました。

児童生徒数の増加に対応し小中学校に給食を安定的に供給するために行っていた新学校給食桜堤調理場の建設が完了しました。令和3年度2学期から稼働し、中学校6校、小学校2校への給食提供を行っています。

3 平和・文化・市民生活分野の成果

【多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築】

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくため、市民などによる実行委員会との協働により、令和3年5月に憲法月間記念行事、8月に夏季平和事業を実施しました。また、平和の日条例制定10周年を踏まえ、令和3年10月中旬から11月下旬まで大石芳野写真展を開催するとともに、11月には平和の日イベントを行いました。なお、青少年平和交流派遣事業は長崎市への派遣は中止となりましたが、青少年ピースフォーラムにはオンラインで参加することができました。

武蔵野市第六期長期計画に記載の「武蔵野市ならではの地域共生社会の推進」、「外国籍市民の支援」を実現するための第一歩として、外国籍市民の意識や外国籍市民に対する地域社会の意識などについて調査を行いました。

【災害への備えの拡充】

防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的な取組みとして計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進するために、武蔵野市国土強靱化地域計画を策定しました。また、武蔵野市地域防災計画の見直しについて、全庁的課題の洗出し、修正概要の検討及び市民防災意識調査などを行いました。

災害時物資供給マニュアルの策定に向け、令和2年度作成の素案を精査のうえ、本市及び関係機関の体制、役割分担並びに物資及び情報の流れの整理・検討を行い、マニュアルの最終案を作成しました。

【安全・安心なまちづくり】

市民の安全確保のため、防犯活動を行う商店会などの地域団体に対し、街頭防犯カメラの設置費用及び運用経費に対する支援を行うことで、犯罪の防止に取り組みました。

令和2年度に速やかに開設した自宅療養者支援窓口は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で自宅療養者が大幅に増えたことを受け、令和3年9月1日から自宅療養者支援センターに改称し、新型コロナウイルス感染症により自宅療養を余儀なくされている方に対し、食料品・日用品の支援、電話による安否確認、心配事の相談受けなど、急な増加にも対応しました。

【地域社会と市民活動の活性化】

市民によるコミュニティづくりが活発に行われるよう、16のコミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動の支援を行いました。また、施設の適切な維持修繕を行うとともに、武蔵野市コミュニティセンター整備計画を策定しました。

コミュニティ構想の公表から50年の節目にあたり、構想の理念・目的などを再確認し、今後を展望することを目指し、シンポジウムを開催するとともに本市のコミュニティ政策の歴史的な変遷を取りまとめた記念誌を作成しました。

【豊かで多様な文化の醸成】

開催が延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレー点火セレモニーなどを、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ無観客で行いました。実行委員会として、市内82団体による総会と5つの分科会の設置、市民が主体のスポーツボランティア「HANDS」の運営や、本市ゆかりの選手応援プロジェクト事業などを実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている劇場やホールなどの活気を取り戻し、まちの活性化を図るために文化施設の使用料を減額し、市内における公演や展覧会などの開催を支援しました。

文化施設、体育施設及び武蔵野プレイスの各種システム及び情報通信基盤の更新を支援し、利用者の操作性・利便性向上を図りました。また、武蔵野文化事業団と武蔵野生涯学習振興事業団の合併にあわせて、市民・利用者にとってより分かりやすい情報提供が可能となるよう、事業団のホームページの統合を支援しました。

【多様な学びや運動・スポーツ活動の推進】

ラグビーワールドカップ2019TMや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて変化した意識や環境、多様化する価値観に基づいた今後のスポーツ施策及び総合体育館大規模改修などについて検討を進め、武蔵野市スポーツ振興計画の改定を行いました。

武蔵野総合体育館外壁・屋上防水等工事については、体育館の外壁タイル改修、屋上防水などの工事を進めるとともに、体育館の長寿命化を図るため、保全と機能改善などの大規模工事に向けて基本計画を策定しました。

【まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、令和3年度に延期していた武蔵野市農業振興基本計画の見直しについては、検討委員会を設置したうえで、農業者及び市民へのアンケート調査、パブリックコメントなどを行い、武蔵野市農業振興基本計画の改定を行いました。また、農地を維持・保全していくため、現地調査、都市計画審議会への諮問な

どを経て特定生産緑地を指定しました。

新型コロナウイルス感染症の影響に対する緊急経済対策として、引き続き空き店舗の長期化が懸念されるため、令和2年度に引き続き、商店会活性出店支援金事業を実施しました。一方で、令和2年度に実施した緊急経済対策の効果を検証し、得られた知見を今後の経済対策の検討に資することを目的とした調査を実施しました。

その成果として、売上の減少した市内事業者支援を目的に、中小企業者等特別支援金事業を実施し、加えて、市民への生活支援と市内事業者支援を目的に、くらし地域応援券事業第2弾を実施しました。

4 緑・環境分野の成果

【刻々と変化する環境問題への対応】

環境啓発施設事業については、駅周辺でのアウトリーチ事業やWeb掲載による環境フェスタのほか、環境の学校連続講座、環境の学校Greenプロジェクトなどを実施したほか、緑のカーテン事業、環境啓発冊子配布及びSDGs展示などの啓発事業を行いました。

食品ロスの削減を図るため、フードバンク活動団体に提供された食料を保管する倉庫及び冷蔵庫を購入し、令和4年3月にむさしのエコreゾートに設置しました。

環境部動画啓発プロジェクトについては、わかりやすく、また親しみやすく伝わるよう、「3Rのうた」、「武蔵野市で出会えるかもしれない生きものたち」などの動画を作成し、SNSを活用してPR・啓発を行いました。

【地球温暖化対策の推進】

国の地球温暖化対策計画の改定に伴って温室効果ガス削減目標が上方修正されたことを受け、令和3年4月に策定した武蔵野市地球温暖化対策実行計画2021の事務事業編・区域施策編について、温室効果ガス削減目標を修正するなどの改定を行いました。

近年増加している局地的大雨などによる浸水被害の軽減及び水環境の保全を図るため、住宅への雨水浸透施設や雨水タンクの設置に対して助成金を交付するとともに、桜野小学校の雨水貯留浸透施設の設置工事、北町4丁目地内の浸水対策施設の設置検討などを行いました。

【「緑」を基軸としたまちづくりの推進】

吉祥寺本町四丁目寄贈物件（旧赤星邸）の利活用の検討のため、耐震診断及びアスベスト調査をするとともに、登録有形文化財の申請手続きを行いました。また、庁内ワーキングを設置し、今後の利活用検討に向けて関係法令の整理に取り組みました。

魅力的で安全安心な潤いある都市環境の推進を目指し、公園施設の改修を行うとともに、子どもたちの遊び場の充実を図るため、さかい西公園の木製複合遊具の更新やこうちゃん公園のコンクリート製遊具の改修及び伏見通り公園出入口のバリアフリー化を実施したほか、西久保3丁目に新たな公園用地の買戻しを行いました。

【省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築】

武蔵野クリーンセンターの安全・安定稼働のため、運営モニタリングなどで施設運営業務の状況を適宜確認しつつ、施設の安全・安定な稼働に寄与しました。また、クリーンセンターを核としたエネルギー地産地消事業については、さらなる効率的なエネルギー利用を推進するため、蓄電量や小中学校への自己託送量を増やしたことにより、地産地消率が向上しました。

【様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保】

「ミカレットさかいみなみ」の便器の洋式化及びバリアフリー化とともに、武蔵境駅南口の周辺環境の整備を図るため、令和3年度は移設工事のための設計を実施しました。

まちの美化、路上禁煙地区内での禁煙の徹底と受動喫煙防止を推進するため、吉祥寺駅と武蔵境駅の喫煙トレーラーハウスの利用を開始しました。併せて、喫煙マナーや受動喫煙の健康面での影響について周知啓発を行いました。

5 都市基盤分野の成果

【個性あふれる魅力的な地域のまちづくり】

武蔵野市景観整備路線事業計画（第2次）に基づき、景観整備優先路線の無電柱化の検討及び設計を行いました。また、市道第16号線（かたらいの道）の電線共同溝設置工事などを実施しました。

東京都の依頼によって都内で一斉に進められている区域区分及び用途地域などの見直しについて、最新の地形図を基に境界根拠などの点検を実施し、地形地物の変化などとの整合を図ったうえで、都市計画変更のために必要となる資料を作成しました。

【将来にわたり持続性ある都市基盤づくり】

市内約520基の大型街路灯（水銀灯）のうち、令和3年度は東部から中央地区にかけて約260基のLED化を完了し、市民の安全・安心の向上、環境負荷の軽減を図りました。

武蔵野市橋りょう長寿命化計画の更新に向けた調査を実施するとともに、当該計画に基づき、千川橋他6橋の定期点検、しろがね橋及び本村橋の補修設計を行いました。また、よろず橋架け替え工事に着手しました。

武蔵野市道路総合管理計画に基づき長寿命化を図るため、八丁地下道の補修設計、玉川人道の擁壁補修工事を実施しました。

持続的・安定的に質の高い下水道サービスを提供していくため、外部有識者などによる武蔵野市下水道総合計画見直し及び下水道事業経営の在り方等検討委員会を設置し、令和3年度は、武蔵野市下水道総合計画（2018）の見直しの検討を行いました。

【誰もが利用しやすい交通環境の整備】

市内で自転車を利用される中学生以上の方を対象に、武蔵野警察署と連携した自転車安全利用講習会や企業などへの出張講習会を開催しました。また、市道第27号線のほか5路線及び市道第41号線のほか6路線を対象として、自転車走行空間整備に関する交通実態調査を行いました。

ムーブスの運行については、新型コロナウイルス感染症の状況及びムーブスの利用状況を考慮し、令和3年2月1日から令和4年1月31日までは特別ダイヤによる運行としました。

【安全で快適な道路ネットワークの構築】

都市計画道路3・4・27号線について、新たな都市計画マスタープランで示されたまちづくりの方針などを整理するとともに、交通量調査で把握した交通実態などを踏まえ、計画道路の方向性を検討しました。

天文台通りの都市計画道路3・4・2号線については、第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業として東京都から受託し、令和3年度は約118㎡の用地を取得、地権者の再建に合わせて仮整備工事を行いました。

【活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり】

令和3年9月に策定されたNEXT吉祥寺2021にて位置付けたウォークアブルなまちづくりの推進に向け、吉祥寺ウエストエリアの交通環境改善に関する事前調査及び令和4年度以降の本調査に向けた検討を行いました。また、吉祥寺駅南口を中心とした自動車や歩行者などの交通輻輳の解決のため、南口駅前広場整備後の交通課題の整理と交通環境改善に向けた検討を行いました。

三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた基本的な考え方について、交通事業者や地元商店会などへ説明を行うとともに、令和4年度に行う研究会の立上げに向け、準備会を実施しました。

6 行財政分野の成果

【市民参加と連携・協働の推進】

自治基本条例に基づく市政運営の一環として、行政評価制度について目的を歳出削減に限定せず、説明責任の向上など行政活動の質をより高めるための「武蔵野市行政評価制度(案)」をまとめました。

【効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション】

令和4年度のホームページ更改にあたり、現状分析や課題整理に関して専門事業者の支

援を受けたうえで調達仕様書を整え、システム構築事業者をプロポーザル方式により選定しました。構築事業者との契約締結を経て、一部構築作業に着手しました。

【公共施設等の再構築と市有地の有効活用】

分野横断的検討プロジェクトなどを実施して延命化に向けた具体的な更新時期の設定や更新費用の算出を行い、武蔵野市公共施設等総合管理計画を改定しました。

社会的ニーズに対応するための改良保全整備として、市庁舎及び中央図書館の特定天井改修工事を実施し、特定天井の耐震化を行いました。また、施設の機能維持を図るため、小中学校やコミュニティセンターなどについて、劣化調査の結果に基づき設計や工事を実施しました。

【社会の変化に対応していく行財政運営】

指定管理者制度を効果的に運用するため、令和7年度からの次期指定管理者制度に関する基本方針や選定手続きについて、他自治体の状況も参考としつつ検討しました。

仮想化基盤及び住民情報システムの更改については、国が進めている「自治体情報システムの標準化・共通化」に関して未公表の情報があったため計画策定は行わず、クラウド利用などについて検討を進め、報告書として取りまとめました。

【多様な人材の確保・育成と組織の活性化】

障がい者の就労支援、雇用促進のため、障がいのある会計年度任用職員を3人任用しました。また、障がいや障がい者就労に対する職員理解の推進を図るため、障がい者の庁内実習及び障がい者就労の理解向上研修を実施しました。

以上、令和3年度の主要な施策の成果についてご説明申し上げます。なお、施策ごとの決算額については、成果一覧表をご参照いただければと存じます。

よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

令和3年度主要な施策の概要と成果一覧

(金額欄における予算は当初予算を計上)

(1) 健康・福祉

基本施策1 まちぐるみの支え合いを実現するための取組み

	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	シニア支え合いポイント制度の推進 《民生費○一般管理経費》《介護保険事業会計 地域支援事業費○一般介護予防事業費》 [地域支援課、高齢者支援課]	予算 4,458 決算 3,715	新型コロナウイルスの影響下にあったものの、感染症対策を行ったうえで説明会を7回実施し、16人が新たにシニア支え合いサポーターとなり、令和4年3月31日時点で登録者は453人となった。また、新たに協力施設・団体数が1施設増え、計32施設に拡大した。
2	シルバー人材センター移転の支援 《民生費○シルバー人材センター助成事業》 [高齢者支援課]	予算 18,549 決算 17,794	令和3年7月26日に(公社)武蔵野市シルバー人材センターの事務所の移転を支援し、老朽化が進み、バリアフリー化されていない建物の課題の解決を図った。併せて、市発行物梱包作業等作業場及び植木班梯子等保管場所も移転した。令和3年8月31日にリサイクルセンターを閉所した。
3	いきいきサロン事業 《民生費○社会参加促進事業》 [高齢者支援課]	予算 8,458 決算 5,010	高齢者の社会的孤立感の解消と健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で在宅生活を送れるようにすることを目的とした事業で、地域住民団体やNPO法人などの運営団体の支援を行った。新型コロナウイルス感染症対策として、補助金の追加交付、活動場所(市立施設)の提供、活動時間の短縮を行った。 ・実施回数 889回 ・市内利用者数 8,159人 ・多世代交流プログラム 実施回数2回/対象者数4人 ・共生社会プログラム 実施回数92回/対象者数126人 ・利用登録者数 347人(令和4年3月31日時点) ・安否確認人数 248人 ※令和3年度は21団体が運営
4	レモンキャブ事業 《民生費○移送サービス事業》 [高齢者支援課]	予算 28,628 決算 28,285	公共交通機関をひとりで利用することが困難な高齢者や障害者(要介護者や障害者手帳取得者など)の外出を支援するため、商店主を中心とした地域のボランティアが福祉型軽自動車(全9台)を運転し、ドア・ツー・ドアのサービスを提供した。新型コロナウイルス感染症対策として、予約期間を1か月に短縮し、通院等の利用に限定した特例運行を継続した。令和3年12月12日に1年の延期を経て20周年記念事業を開催した。 ・運行範囲 市内及び近接市区(三鷹市・小金井市・西東京市・杉並区・練馬区) ・利用料金 年会費1,000円 運行費800円/30分 ・運行回数 15,177回 ・運行日数 293日 ・登録会員数 911人(令和4年3月31日時点) ・運行協力員数 48人(令和4年3月31日時点)

5	テンミリオンハウス事業 《民生費○テンミリオンハウス事業》 〔高齢者支援課〕	予算 決算	112,311 98,035	市内で8か所のテンミリオンハウスを開所し、ミニデイサービスや緊急ショートステイなど、地域のニーズに応じた特色ある共助の事業を展開した。テンミリオンハウスに通うことで、介護予防、健康増進、趣味活動や仲間づくりの促進など、高齢者や乳幼児親子の地域とのつながりが深まり、生活の質の向上につながった。新型コロナウイルス感染症対策として、事前予約制、身体的距離の確保に伴う定員の制限、フレイル予防推進プログラムを実施するとともに、補助金の追加交付、開設時間の短縮を行った。令和4年3月31日に関三倶楽部を開所した。 ①川路さんち 開所日数 233日 延利用人数 1,657人 ②月見路 開所日数 274日 延利用人数 3,289人 ③関三倶楽部 開所日数 282日 延利用人数 476人 (デイ) 278人 (ショート) 198人 ④そ~らの家 開所日数 296日 延利用人数 5,181人 ⑤きんもくせい 開所日数 294日 延利用人数 4,538人 ⑥花時計 開所日数 249日 延利用人数 3,996人 (高齢者) 2,646人 (乳幼児) 1,171人 (児童) 179人 ⑦くるみの木 開所日数 286日 延利用人数 5,861人 ⑧ふらっと・きたまち 開所日数 240日 延利用人数 2,807人
6	障害者の権利を守る取組み 《民生費○一般管理経費、○障害者自立支援給付等事業、○地域生活支援事業》 〔障害者福祉課〕	予算 決算	1,211 993	親なき後に備えておくことの重要性や成年後見制度について普及啓発を行うため、「親なき後講座事業」として、講座4回、講演会1回、個別相談会2回を実施した。また、心のバリアフリー啓発事業を6団体に対して実施し、1,168名の参加を得て障害者差別解消につなげた。
7	食育推進事業 《衛生費○食育推進事業》 〔健康課〕	予算 決算	2,211 944	前年度中止した「第1回むさしの食育フェスタ」を、特設ホームページ「食を育む。むさしの」内でオンラインにより開催し、食育の周知を充実させた。 ・公開期間：令和3年12月15日から令和4年1月31日まで
8	がん検診等事業の推進 《衛生費○老・成人保健事業》 〔健康課〕	予算 決算	206,341 197,000	胃がん・肺がんセット検診や土曜日検診、託児付き検診、胃がん内視鏡検診を行った。子宮がん及び乳がん検診対象者には全員へ受診勧奨を行ったほか、肺がん高危険群への勧奨等も実施した。大腸がん集団検診を除き、受診者数は前年度を上回った。
9	若年層健康診査事業 《衛生費○老・成人保健事業》 〔健康課〕	予算 決算	13,907 10,920	若年期からの受診習慣の形成、生活習慣病予防及び健康管理への意識改善のため、健診機会のない若年層（15歳から39歳）に健診を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により受診期間を延長した。 ・受診者数914人
10	特定健康診査未受診者に対する受診勧奨事業 《国民健康保険事業会計 保健事業費○健康保持増進事業》 〔保険年金課、健康課〕	予算 決算	5,078 2,243	武蔵野市国民健康保険データヘルズ計画に基づき、特定健康診査の未受診者に対してより効率的・効果的な受診勧奨を行うため、被保険者ごとに適した勧奨通知によって受診率の向上を図った。 発送通数：12,717通
11	介護保険制度改正に伴うシステム改修 《介護保険事業会計 総務費○一般管理経費》 〔高齢者支援課〕	予算 決算	23,536 9,973	令和3年度中の制度改正に対応すべく、以下5点について機能の更新、追加を行った。 ① 医療保険の個人単位被保険者番号の活用 (国保オンライン資格対応含む) ② 補足給付における負担限度額の見直し対応 ③ 補足給付における預貯金等の基準の見直し対応 ④ 高額介護サービス費の自己負担額の見直し ⑤ 税制改正対応(給付)

基本施策2 生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化

12	在宅医療・介護連携推進事業 《民生費○在宅医療・介護連携推進事業》 [地域支援課]	予算 決算	9,043 7,524	在宅医療と介護の連携を推進することを目的に連携における課題の抽出と対応策の検討を行う「在宅医療・介護連携推進協議会」を2回開催した。 医療と介護関係者の多職種連携を推進するための研修「新型コロナウイルス感染症における在宅療養支援と在宅医療・介護連携」をオンラインで行った。(医療・介護関係者:291人) 武蔵野市医師会に委託した「在宅医療介護連携支援室」では医療・介護関係者からの相談や調整に対応した。(相談:190件、訪問:230件) 在宅療養に関する普及啓発のため、市民セミナー(オンライン上映会)を開催した。(参加者:104人)
13	訪問看護と介護の連携強化事業 《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	14,200 15,151	訪問看護事業者が要介護認定者などに係る医療情報を居宅介護支援事業者などに提供した場合に、被保険者1人当たり1か月につき1,000円もしくは24時間365日連絡体制のある事業所には2,000円の連携費を支給した。連携費にインセンティブを付することにより、深夜等時間帯に医療ニーズが必要となる要介護者等の受入れ促進を図り、もって医療ニーズの高い単身高齢者等の在宅生活継続支援を図った。(予算額・決算額は補助金のみ) ・訪問看護と介護の連携強化事業 協定事業所数30事業所(令和3年度末現在)、 対象延利用者数9,730人(2,000円×5,421人、1,000円×4,309人)
14	在宅人工呼吸器使用者等への災害時個別支援計画の作成 《民生費○心身障害者在宅等援護事業》 [障害者福祉課]	予算 決算	110 11	在宅で常時人工呼吸器を使用する難病患者等に対して、災害時の個別支援計画を作成した。サービス提供を行う訪問看護事業所に計画作成を委託し、関係機関の情報共有を図ることで、災害時の具体的な支援体制の構築につなげることができた。
15	武蔵野赤十字病院への支援 《衛生費○一般管理経費》 [健康課]	予算 決算	85,123 85,123	武蔵野赤十字病院は高度急性期医療、三次救急医療機関であるほか、災害拠点病院の役割を担っていることから、病棟の建替えに伴うがん医療対策及び周産期医療のさらなる充実や、感染症病棟の設備改修工事に対して補助金交付による支援を行った。
16	新型コロナウイルス感染症予防対策事業 《衛生費○一般管理経費、○感染症予防対策事業》 [健康課]	予算 決算	15,869 11,955	武蔵野市の新型コロナウイルス感染症対策について、意見を聴取するとともに、助言を求めため、武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を開催した。 新型コロナウイルス感染症の在宅療養者の訪問診療等に必要な感染予防衛生用品を確保し、各医療機関等に配備した。また、武蔵野市医師会の各医療機関へパルスオキシメーターの配備や、酸素濃縮器の整備(リース方式)等に係る経費補助等を行い、PCR検査等を実施した市内医療機関が在宅療養者の病状等に応じてパルスオキシメーターを貸与、健康観察、電話・オンライン・訪問等による診療、酸素濃縮器の貸与等を行う医療支援体制を整備した。
17	予防接種事業 《衛生費○予防接種事業》 [健康課]	予算 決算	500,879 449,591	感染症の発生及びまん延を防止するため、B型肝炎、ロタ、麻疹・風しん、日本脳炎、BCG、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザなどの定期接種を積極的に勧奨し、実施した。高齢者肺炎球菌の接種率向上を図るため東京都の補助金を活用し、自己負担額を半額(2,500円)で実施した。また、国の風しん追加的対策における風しんの抗体検査及び風しんの第5期の定期接種を実施した。任意接種ではおたふくかぜ予防接種、成人の風しん抗体検査・予防接種の費用助成を実施した。
18	新型コロナウイルスワクチン接種事業 《衛生費○新型コロナウイルスワクチン接種事業》 [健康課]	予算 決算	522,005 1,764,795	国の指示のもと、新型コロナウイルス感染症に係る特例的な臨時予防接種を実施した。初回接種(1・2回目)、第1期追加接種(3回目)、小児接種を集団接種会場及び個別接種会場にて実施した。また、令和4年度に開始する第2期追加接種(4回目)の接種体制の確保に向けた準備を行った。

基本施策3 安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実

19	避難行動支援体制の整備 《民生費○一般管理経費、○社会福祉協議会事業》 [地域支援課]	予算 決算	2,369 1,538	災害時要援護者及び未同意の避難行動要支援者の安否確認、避難支援を速やかに実施するための備えとして、令和4年2月に名簿を更新し各避難所に保管している旧名簿と入れ替えた。 更新後の避難行動要支援者数は2,863人で、名簿登録者には登録した旨の通知を送付した。
20	成年後見制度地域連携ネットワークの構築と武蔵野市成年後見利用支援センターの運営 《民生費○権利擁護事業》 [地域支援課]	予算 決算	7,657 8,153	武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、関係機関が連携するため、「武蔵野市成年後見制度地域連携ネットワーク連絡協議会」を2回オンラインで開催した。制度の利用促進を図る中核機関として設置した「武蔵野市成年後見利用支援センター」が制度の総合相談や普及啓発事業（講演会、学習会・相談会等）を実施した。
21	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 《民生費○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業》 [地域支援課]	予算 決算	0 1,254,379	「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」（令和3年11月19日閣議決定）の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対し1世帯当たり10万円の給付金支給事業を実施し、令和4年3月末までに12,043世帯へ支給決定した。
22	福祉総合相談窓口の開設 《民生費○重層的相談支援体制推進事業》 [生活福祉課]	予算 決算	7,284 6,885	多様かつ複合的な課題を抱える方からの相談窓口を明確化し、個々の相談に対し分野横断的に関係機関と連携しながら、課題の解決に向けた包括的・継続的支援を行うため、令和3年4月から、ひきこもり相談を含めた福祉総合相談窓口を市役所内に開設した。 ・新規相談件数 99件 ・延相談件数 582件
23	生活困窮者自立支援事業 《民生費○生活困窮者自立支援事業》 [生活福祉課]	予算 決算	160,793 123,382	多様な課題を抱えた生活困窮者に対し、早期自立に向けて、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。生活困窮相談件数及び自立相談支援事業新規相談件数は新型コロナウイルス感染症の影響により非常に多い状況が続いている。また、新型コロナウイルス感染症などによる生活困窮者への市独自の支援策として、生活困窮者住居契約更新料給付金、生活困窮者特別就職支援金の支給を行った。 ・生活困窮相談件数 894件 ・自立相談支援事業新規相談件数 779件 ・住居確保給付金新規支給決定件数 250件 延利用件数 1,511件 ・就労準備支援事業実利用者 6人 ・学習支援事業実利用者（集合型）15人 延利用回数 285回 （サポート型）11人 延利用回数 501回 ・家計改善支援事業実利用者 12人 延支援者数 71人 ・生活困窮者住居契約更新料給付金支給決定件数 26件 ・生活困窮者特別就職支援金支給決定件数 9件
24	生活困窮者自立支援金支給事業 《民生費○生活困窮者自立支援金支給事業》 [生活福祉課]	予算 決算	0 56,288	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、特例貸付を利用できない世帯に対し、就労による自立を図るため、またそれが困難な場合に円滑に生活保護の受給へつなげるため、令和3年7月から新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給を開始し、公共職業安定所の求職申込等を通じて常用就職を目指す活動を支援した。 ・支給決定件数 249件 ・延支給件数 648件
25	被保護世帯援護事業 《民生費○生活保護法による扶助事業》 [生活福祉課]	予算 決算	3,803,219 3,530,430	生活保護法に基づき、生活扶助、住宅扶助、医療扶助等各種扶助を行った。 ・延世帯数 20,034世帯 ・延人員数 22,727人
26	高齢者等緊急訪問介護事業（レスキューヘルパー事業） 《民生費○高齢者日常生活支援事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	2,720 811	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方が急病などで一時的に支援が必要な場合にヘルパーを派遣し、入浴介助等の身体介助や、生活援助（掃除、洗濯、買い物）のサービスを提供した。 ・延利用者9人、延54時間 また、介護者が新型コロナウイルスに感染したことにより介護者不在となる場合や高齢者本人が感染し自宅療養となった場合にもヘルパーを派遣できるよう事業を拡充した。 ・延利用者2人、延20時間

27	エンディング（終活）支援事業 《民生費○高齢者日常生活支援事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	664 505	概ね65歳以上の市民を対象にエンディング・ノートの配布、エンディングや終活に関する出前講座といった普及啓発の実施及び相談支援を行い、没後に関する不安解消に取り組んだ。 ・ノート配布数：912冊 ・出前講座実施数：8回、95人参加 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、緊急事態宣言期間中は、出前講座を原則中止した。 ・相談件数：12件
28	認知症高齢者支援事業 《民生費○認知症高齢者支援事業》 《介護保険事業会計 地域支援事業費○包括的支援事業・任意事業費》 [高齢者支援課]	予算 決算	17,390 8,125	認知症高齢者や介護者が安心して暮らせるよう、普及・啓発を行い理解を深めるとともに、認知症初期集中支援チームの設置、相談事業、見守り支援事業の充実により在宅生活を支援した（介護保険事業会計分を含む。予算額：962千円、決算額：643千円）。 ・認知症サポーター養成講座 30回、延782人 ・認知症相談事業 延55人 ・認知症を知る月間及び休日相談会 8人 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、医師会による相談会は中止し、電話相談のみ実施 ・認知症高齢者見守り支援事業 登録者24人、延1,364.5時間 ・認知症初期集中支援事業 7件
29	介護保険利用者負担額助成事業（5%助成） 《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	29,234 27,158	介護保険を利用する低所得者に対し、訪問介護サービス利用料10%のうち5%分の助成を行った。このことにより、低所得者の経済的な負担軽減がなされ、安心した在宅サービスの継続が図られた。 (予算額・決算額は扶助費のみ) ・介護保険利用者負担額助成事業 実支給人数859人、支給件数7,917件

基本施策4 福祉人材の確保と育成に向けた取組み

30	地域包括ケア人材育成センター事業 《民生費○福祉人材確保育成事業》 [地域支援課]	予算 決算	21,263 21,263	人材育成事業、研修・相談事業、就職支援事業、事業者・団体支援事業の4つの事業を一体的に展開した。オンラインの活用による研修を継続し、SNSを活用した広報、医療的ケアに従事する介護職員の養成など総合的な介護人材の確保、育成を行った。
31	介護職・看護職R eスタート支援金 《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	6,000 5,550	介護職等の人材確保のため、市内の介護施設や障害者施設等に就職した方に対し、支援金を給付した。 ○令和4年3月末時点 支給件数 45件（介護43件、障害2件） （資格有り33件、資格無し12件） 支給額 5,550千円
32	ケアリニック武蔵野2021 《民生費○介護保険事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	3,000 1,988	“まちぐるみの支え合いの仕組みづくり”に向けて、介護・看護事業者における先進的な取組みを共有し、サービスの質の向上を図った。介護・看護職員が誇りとやりがいを持って働き続けられるよう支援した。 ・実施日：令和3年11月27日（土） ・会場：武蔵野スイングホール ・参加者数：来場者：110人、オンライン接続数：423件 ・内容：(1)永年従事者表彰（対象者 102人） (2)演題発表（5団体） (3)武蔵野市×杏林大学～介護職の想いをつなげたい～ （杏林大学の学生による動画発表） ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためWeb配信とのハイブリット方式 ※被表彰者や演題発表者等の関係者のみ会場参加

基本施策5 新しい福祉サービスの整備

33	特別養護老人ホームの多床室等整備補助金 《民生費○介護保険施設等整備事業》 [高齢者支援課]	予算 決算	20,250 20,250	特別養護老人ホームのユニット型個室の利用料は経済的に高負担となる傾向があることから、利用料が比較的抑えられる多床室等を整備する事業者に、施設整備に係る支援を行った。 ・特別養護老人ホーム武蔵野館 10床整備
----	----------------------------------------------------------	----------	------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

34	吉祥寺ナーシングホームの大規模修繕に係る基本計画策定 《民生費〇介護保険施設等整備事業》 〔高齢者支援課〕	予算 決算	4,755 3,323	東京都との合築施設である吉祥寺ナーシングホームについて、今後見込まれる老朽化に伴う大規模修繕工事に対応していくため、令和元年度に東京都が実施した建物状況調査の結果に基づき、東京都と連携して基本計画を策定した。
35	障害者福祉センターあり方検討委員会の設置 《民生費〇障害者福祉センター管理運営事業》 〔障害者福祉課〕	予算 決算	842 580	「武蔵野市障害者福祉センターあり方検討委員会」を設置して、今後のセンター業務のあり方等について検討を行った。同委員会の報告を受け、旧なごみの家と障害者福祉センターの敷地を一体として建替えを行う方針を決定した。

(2) 子ども・教育

基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

1	子どもの権利条例（仮称）の検討 《総務費〇児童対策事業》 〔子ども子育て支援課〕	予算 決算	1,654 1,359	令和3年5月に「武蔵野市子どもの権利に関する条例検討委員会」を設置し、条例の制定について検討を行った。令和3年度は委員会を6回開催し、子どもの権利について、多様な視点から幅広い議論を行った。
2	子どもと子育て家庭への支援のあり方の検討 《総務費〇児童対策事業》 〔子ども子育て支援課〕	予算 決算	853 809	今後の子どもと子育て家庭への支援の仕組みや新たな複合施設の必要性について、有識者会議を設置し検討を行った。会議での検討結果について、令和3年12月に報告書として取りまとめた。
3	放課後等デイサービス「パレット」の人員体制強化 《民生費〇放課後等デイサービス事業》 〔障害者福祉課〕	予算 決算	40,059 39,482	令和2年12月に開設した障害児通所支援施設「武蔵野市放課後等デイサービスパレット」において、肢体不自由児や医療的ケア児へ安定した支援を行うため、施設の人員体制の強化を図った。 事業日数 242日、利用人数 延867人
4	子ども家庭支援センター事業 《民生費〇子ども家庭支援センター事業》 〔子ども子育て支援課〕	予算 決算	49,118 42,286	子どもとその家庭に対する相談事業などを実施し、子育て支援ネットワークの中核機関として関係機関の連携を進め、子育てに不安を持つ家庭を適切に支援した。 ・相談事業延活動件数 26,169件
5	子ども・子育て支援事業 《民生費〇子ども・子育て支援事業》 〔子ども子育て支援課〕	予算 決算	58,151 45,869	子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠からすべての子どもと子育て家庭が地域から孤立することなく安心して子育てができるよう支援を行った。「共助による子育てひろば事業」や当事者ボランティアの育成、支援者のつながりを目的としたボランティア養成講座を実施し、多様な主体による子育て支援の充実を図った。地域の相互援助活動による子育て家庭への支援として、ファミリー・サポート・センター事業を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業などによりファミリー・サポート・センター事業を利用する場合に、利用料相当額の助成を行った。切れ目ない支援の入口である「ゆりかごむさしの面接」を行った妊婦に対して「子ども・子育て応援券」を配付した。新型コロナウイルス感染症への対応のため、健康課所管の「ゆりかごむさしのフェスティバル」と合同で、特設のホームページを開発してオンラインによる「子育て・ゆりかごむさしのフェスティバル」を開催した。 ・育児パッケージ配付 1,187件 ※健康課と共管 ・共助による子育てひろば事業実施コミセン数 7か所 ・子育てひろばネットワーク会議 参加団体数 延51団体 ・子育てひろばボランティア養成講座 実参加者数 26人 ・ファミリー・サポート・センター事業 活動件数 延2,746件、利用助成 延242時間 ・ベビーカー貸出しサービス事業 実施箇所数 4か所18台（一部休止） ・むさしのすくすくナビ 登録者数 6,741人（令和3年度末時点） ・子育て・ゆりかごむさしのフェスティバル ページビューの総数 4,788件、動画の総再生回数 1,427件 ※予算額及び決算額は「子どもの支援に係る地域連携強化事業」を除く

6	児童手当支給事業 《民生費〇児童手当支給事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	1,829,150 1,797,741	中学校修了前の児童の保護者に児童手当又は特例給付を支給した。 ・児童手当 支給額 1,369,280,000円、受給者数 6,846人、対象児童数 10,076人 ・特例給付 支給額 422,010,000円、受給者数 4,581人、対象児童数 7,111人
7	児童扶養手当等支給事業 《民生費〇児童扶養手当等支給事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	406,602 378,407	ひとり親家庭等や障害のある児童の保護者に児童扶養手当・児童育成手当を支給した(所得制限あり)。 ・児童扶養手当支給額 207,955,070円、受給者数 436人 ・児童育成手当支給額 162,646,000円、対象児童数 963人
8	ひとり親家庭訪問型学習・生活支援事業 《民生費〇ひとり親家庭対策事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	6,807 6,796	学習支援員が自宅を訪問し、子どもに対して学習・生活支援を行うことで学習習慣の定着と基礎学力の向上を図るとともに、保護者の相談に応じることでひとり親家庭の生活安定化を促進した。 ・利用世帯 13世帯
9	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 《民生費〇ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	7,493 5,989	就学、就労、疾病又は生活環境の変化などにより、一時的に家事、育児等の日常生活の援助を必要とするひとり親家庭にホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。 ・実世帯数 18世帯 ・派遣日数 814日
10	母子保健事業 《衛生費〇母子保健事業》 [健康課、子ども子育て支援課]	予算 決算	244,139 214,787	子ども一人ひとりの健やかな成長のため、保健師などの専門職が全ての妊産婦とその家族に寄り添い、支援を行った。新たに「ファーストバースデーサポート事業」及び「多胎児家庭移動経費補助」を実施した。子ども子育て支援関連部署等との連携強化により切れ目のない相談支援を行った。

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

11	私立幼稚園等園児保護者に対する助成事業 《総務費〇私立幼稚園等助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	733,800 648,100	幼児教育・保育の無償化に伴う施設等利用費の給付を行った。また、保育所を利用する幼児について無償化の対象外となる給食費を公費負担としているため、幼稚園などについても給食費などの負担軽減を図る補助を行った。
12	私立幼稚園に対する補助及び給付事業 《総務費〇私立幼稚園等助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	117,478 111,666	幼児教育の振興を図るため、市内幼稚園に対して引き続き支援を行うとともに、新制度に移行した幼稚園に対して、国の公定価格に基づき給付を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策費用の補助を行った。
13	一時預かり事業(幼稚園型)の充実 《総務費〇私立幼稚園等助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	57,975 63,290	子ども・子育て支援新制度に基づく一時預かり事業(幼稚園型)への移行を促すとともに、概ね年間250日開園するなど充実した預かり事業を行っている幼稚園に対して継続して補助を行った。
14	高校生等医療費助成事業 《民生費〇子どもの医療費助成事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	36,235 27,723	0歳から18歳までの全ての子どもの保健向上と子育て家庭の経済的な負担軽減を目的として、令和3年4月診療分から高校生等の入院医療費に係る保険診療自己負担分の助成を開始した(所得制限なし)。また、高校生等の通院等医療費助成・医療証交付の開始に向けて、対象者に周知するとともに、関係機関との調整を実施した。 ・助成件数 31件 助成額 3,230,023円
15	乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業 《民生費〇子どもの医療費助成事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	559,475 602,050	乳幼児及び義務教育就学児の医療保険診療自己負担分を助成した。 ・医療費助成額 乳幼児 264,078,928円 義務教育就学児 317,857,838円 ・対象児童数 乳幼児 7,910人、義務教育就学児 10,570人 ・助成件数 乳幼児 140,251件、義務教育就学児 133,992件
16	0123施設の管理運営 《民生費〇0123施設の管理運営》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	109,944 103,626	(公財)武蔵野市子ども協会に管理運営を委託し、0から3歳までの乳幼児の豊かな育ちとその親の子育てを支援した。新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間の延長及び4・5歳児支援の試行を中止した。 ・延利用者(子ども)数 吉祥寺 9,781人、はらっぱ 16,882人
17	すくすく施設事業 《民生費〇すくすく施設事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	14,404 13,915	子育てひろば・小規模保育事業・一時預かりの3つの機能を持つ子育て支援施設「すくすく泉」の運営を行うNPO法人いずみの会に対して、運営費を補助した。

18	子育て世帯生活支援特別給付金事業 《民生費○子育て世帯生活支援特別給付金事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	0 98,617	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給した。 ・ひとり親世帯分 対象世帯数 489世帯、対象児童数 658人、支給金額 32,900,000円 ・ひとり親以外の子育て世帯分 対象世帯数 723世帯、対象児童数 1,153人、支給金額 57,650,000円
19	子ども子育て支援特別給付金支給事業 《民生費○子ども子育て支援特別給付金事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	0 77,031	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国の特別定額給付金事業及び都の出産応援事業のいずれにも対象とならなかった児童を養育する世帯に対し、本市独自の臨時特別給付金を支給した。 ・対象世帯数 762世帯、対象児童数 769人、支給金額 76,900,000円
20	子育て世帯等臨時特別支援事業 《民生費○子育て世帯等臨時特別支援事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	0 1,270,008	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける18歳までの児童を養育する児童手当（本則給付）相当の所得の子育て世帯に対し、特別給付金（一括給付金及び支援給付金）を支給した。 ・一括給付金 対象世帯数 8,207世帯、対象児童数 12,532人、支給金額 1,253,200,000円 ・支援給付金 対象世帯数 41人、対象児童数 62人、支給金額 6,200,000円
21	ひとり親家庭等医療費助成事業 《民生費○ひとり親家庭等医療費助成事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	26,774 22,915	ひとり親家庭等に対し、医療保険診療自己負担分（課税世帯は一部）を助成した（所得制限あり）。 ・医療費助成額 22,087,147円、受給世帯数 513世帯、受給対象者数 722人、助成件数 8,838件
22	保育の質向上の取組み 《民生費○一般管理経費》 [子ども育成課]	予算 決算	12,940 11,440	保育従事者を対象とした研修を実施したほか、重大事故防止のための巡回支援指導員や保育総合アドバイザー、保育相談員の充実などにより、市内保育施設の保育の質のさらなる向上を図った。
23	保育施設における使用済み紙おむつの回収 《民生費○一般管理経費》 [子ども育成課]	予算 決算	21,179 21,173	保育所内での衛生面の向上と子育て世帯の負担軽減を図るため、市内の保育施設（認可保育所、認定こども園、地域型保育事業、認証保育所、企業主導型保育事業）を対象とした、園児の使用済み紙おむつの回収・処分事業を実施した。
24	認可外保育施設入所児童保育助成事業 《民生費○認可外保育施設助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	104,850 80,653	東京都認証保育所に入所する児童の保護者に対して、認可保育所の保育料との差額を助成し（所得階層に応じた上限あり）、子育て世帯の負担軽減を図った。また、無償化対象者に対しても上乗せ助成を行った。
25	企業主導型保育事業に対する支援 《民生費○認可外保育施設助成事業》 [子ども育成課]	予算 決算	17,662 19,431	市民の受入れを行う企業主導型保育事業者に対し、保育人材確保に向けた取組みとして、都の制度であるキャリアアップ補助事業などを活用して支援を行い、市民が安心して利用できる保育施設の拡充を図った。
26	認証保育所の認可化移行 《民生費○認可外保育施設助成事業、○保育所等運営委託・給付事業》 [子ども育成課]	予算 決算	83,000 167,997	希望する保育施設に入所できるよう、令和4年4月1日に認証保育所の認可化移行により認可保育所2園を開設し、定員を54人拡充することができた。令和2年4月に待機児童ゼロを達成し、令和3年、令和4年4月においてもこれを継続している。
27	多様な保育ニーズへの対応 《民生費○認可外保育施設助成事業、○保育所等運営委託・給付事業》 [子ども育成課]	予算 決算	4,320 31,016	パートタイム勤務や定曜日、短時間勤務等、保護者の就労形態や保育ニーズが多様化している中で、地域型保育施設の空きを活用する余裕活用型一時預かり事業（3か所、延利用人数106人）や定期利用保育事業（2か所、延利用人数1,728人）、ベビーシッター利用支援事業（延利用人数761人）を実施した。
28	あそべえ事業 《民生費○あそべえ事業》 [児童青少年課]	予算 決算	220,185 213,539	小学生が安全かつ健全に放課後などを過ごし、仲間づくりや異年齢交流を行うことができるように、学校施設を利用した地域の居場所・遊び場を提供した。新型コロナウイルス感染症の影響により8月26日から9月30日まで閉館した。 ・延参加児童数 355,562人

29	学童クラブ事業 《民生費○学童クラブ事業》 [児童青少年課]	予算 決算	619,709 643,493	就労などのために放課後に保護者の監護を受けられない児童の健全育成を行った。入会児童数の増加に対応するため第二小学校、第三小学校及び桜野小学校のクラブ室の整備を行い、令和4年度に向けて定員を75人増やした。 ・15クラブ、定員 1,399人、在籍数（年間平均） 1,437人 ※民間学童クラブ含む。
30	児童館の管理運営 《民生費○児童館の管理運営》 [児童青少年課]	予算 決算	30,264 19,426	子どもたちの健全育成を目的として、乳幼児と保護者、小・中学生を対象に健全な遊びと安全な居場所を提供した。地域子育て支援拠点事業に加えて、利用者支援事業を開始し、関係機関や地域の子育て支援団体と連携しながら子育て家庭への支援強化を図った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、「ワーイ！こどもの日」、「じどうかんまつり」などの一部の行事を中止した。 ・事業回数 277回、参加者 延4,804人 ・一般来館者 延26,643人、総計 延31,447人

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

31	青少年問題協議会・地区活動事業 《総務費○青少年問題協議会・地区活動事業》 [児童青少年課]	予算 決算	11,960 9,265	青少年に対する本市の総合的施策の実施を推進し、青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会定例会の開催及び地区委員会活動に対する補助を行った。定例会では青少年健全育成に関わる機関が情報共有や意見交換を行い、地区委員会ではどんど焼きや美化運動などのほか、地域の特徴を生かした活動を通じて青少年健全育成の促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け一部中止を余儀なくされた事業もあった。 ・市内12地区委員会 1,408人
32	子どもを守る家関連推進事業 《総務費○子どもを守る家関連推進事業》 [児童青少年課]	予算 決算	1,742 1,008	子どもを守る家及び自転車防犯帯の協力員拡大の取組みと情報提供を実施し、地域防犯力と犯罪抑止効果を高めた。また、子ども自らが犯罪や嫌がらせなどから身を守る能力を高めるCAPプログラム（子どもへの暴力防止プログラム）を実施し、保護者を含めた安全意識の醸成を図った。 ・子どもを守る家 1,870件、自転車防犯帯 3,629件
33	子どもの支援に係る地域連携強化事業 《民生費○子ども・子育て支援事業》 [子ども子育て支援課]	予算 決算	10,080 9,774	子ども・子育て支援を行う民間団体からの相談対応や活動助成のほか、本市及び民間団体とのネットワーク構築、学齢期以降の子どもの相談支援情報誌の発行やホームページなどを活用した情報発信を行い、地域の民間団体との連携による仕組みの構築及び複合的な支援を行った。
34	保育士等人材の確保及び定着に向けた取組みへの支援 《民生費○認可外保育施設助成事業、○保育所等運営委託・給付事業》 [子ども育成課]	予算 決算	639,786 667,959	期末報償金補助金の創設による保育士などの処遇改善の取組みを行うとともに、職員用の宿舍の借上げ、保育補助者の雇用を行っている事業者に対する補助など、国や都の制度を活用して保育人材の確保、定着及び離職防止を目的とした支援を行った。

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

35	市立自然の村の管理運営 《総務費○市立自然の村の管理運営》 [児童青少年課]	予算 決算	45,788 40,778	施設の管理運営などを指定管理者へ委託するとともに、浄化槽送風機の交換工事、多目的広場腰壁の一部改修工事などを行い、青少年をはじめ多くの市民が利用しやすい施設とすることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年1月8日から10月15日まで及び令和4年1月20日から3月25日までの期間を閉村とし、利用促進バスの実施も2回にとどまった。また、天体望遠鏡講習会及び天体観望会は実施時期の延期や定員の縮小をして実施した。 ・宿泊利用者数 180人
36	むさしのジャンボリー事業 《総務費○むさしのジャンボリー事業》 [児童青少年課]	予算 決算	22,702 2,473	青少年の健全育成を目的に青少年問題協議会地区委員会との共催事業として、市立自然の村において小学校4～6年生を対象に2泊3日のキャンプを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止又は代替事業の実施にとどまった。 ・二俣尾・武蔵野市民の森「自然体験館」での実施 3地区 ・小学校校庭での実施 1地区

37	青少年活動育成事業 《総務費○青少年活動育成事業》 [児童青少年課]	予算 決算	44,995 35,065	青少年の健全育成や青少年団体の活動支援、地域の活性化等を目的として様々な事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止又は縮小して実施した。 ・中高生リーダー養成講座 受講者数(新規登録者数) 235人 ・子ども自然体験指導者講習会 受講者(第1回中止、第2回12人、第3回10人) ・善行表彰 子鳩・けやき表彰 9人、5グループ、奨励団体 1団体 ・青少年関係団体バス借上げ 3団体、講師謝礼補助 1団体 ・プレーパーク事業 延343日開催、来場者数 延25,786人 ・遠野市家族ふれあい自然体験 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・親子稲作体験(新潟県長岡市) 新型コロナウイルス感染症の影響により、田植え、稲刈りともに中止 ・若者サポート事業 定期開所数 244回、登録者参加人数 998人 ・プレーパーク子ども・若者支援事業 居場所事業 178回、延参加者数 396人
38	学校図書館の充実 《教育費○児童生徒指導》 [指導課]	予算 決算	18,511 18,114	市立小学校1校・中学校2校をモデル校として、学校図書館サポーターの配置時間を拡充し、利用する児童生徒への対応や教員との連絡調整を充実させ、読書活動や学校と図書館を活用した主体的な学びを支援した。
39	学習者用コンピュータ活用の推進 《教育費○情報教育指導》 [指導課]	予算 決算	154,193 166,935	令和2年度に整備した学習者用コンピュータを使用して、効果的な活用のために必要な知見を蓄積するとともに、学習者用コンピュータ活用検討委員会において、持ち帰り時の活用方法等について研究した。また、児童生徒数の増加に伴う追加整備を実施した。学校で行われる授業については発達段階にあわせた活用計画やデジタル・シティズンシップ教育の考え方を検討し、各教員の工夫のもとで学習者用コンピュータを活用した様々な授業実践が行われた。活用事例については「令和3年度学習者用コンピュータ活用事業のまとめ」として市ホームページで公開した。 ・学習者用コンピュータ活用検討委員会開催回数：6回 ・追加整備台数：285台
40	セカンドスクール・プレセカンドスクール 《教育費○セカンドスクール》 [指導課]	予算 決算	160,405 61,212	令和2年度に行われた検討委員会の報告を踏まえ、活動のねらいを一層明確にした長期宿泊での自然体験や農業体験を通し、豊かな感性や自主性、協調性等を育む教育活動を実施することを企図していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全校延期または中止となり、期間を縮小して実施したほか、代替学習を実施した学校もあった。代替学習は、実施地や期間、内容を変更することにより、児童・生徒が当初の目標の一部を体験できるよう各校が工夫したもので、日帰り自然体験やハイキング、現地から宿舎の方を講師として招聘した工芸体験、現地とのオンライン交流などが行われた。 ・全30回のうち、当初予定どおり実施0回、延期実施2回、延期短縮実施17回、短縮実施1回、代替学習7回、中止3回
41	教育相談事業 《教育費○教育相談事業》 [教育支援課]	予算 決算	78,579 76,387	教育支援センター、帰国・外国人教育相談室における教育相談を通じて、子どもの成長発達を支援した。新たに多言語翻訳機を導入し、日本語が話せない外国籍等の児童生徒への言語支援を継続した。 ※予算額及び決算額は「不登校対策の総合的推進」を除く。
42	不登校対策の総合的推進 《教育費○教育相談事業》 [教育支援課]	予算 決算	72,352 68,622	スクールソーシャルワーカーを中心に不登校対策を推進した。不登校児童生徒を支援するチャレンジルームを運営するとともに、むさしのクレスコーレの運営体制を強化した。家庭と子どもの支援員を全ての市立小中学校に配置した。
43	交流共同学習支援員の配置拡充 《教育費○知的障害学級運営》 [教育支援課]	予算 決算	3,579 2,960	令和2年度から特別支援学級設置小学校に配置した支援員を、特別支援学級設置中学校にも配置し、通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習の機会拡充を図った。

44	特別支援教育の推進 《教育費○知的障害学級運営、○難聴・言語障害学級運営、○肢体不自由学級運営、○院内病弱学級運営、○情緒障害学級運営》 〔教育支援課〕	予算 決算	118,920 103,702	障害種別ごとの特別支援学級、全小中学校における特別支援教室を運営した。 特別支援教育の周知と理解促進のため、特別支援教室、通級指導学級の紹介動画を、市ホームページに掲載した。
----	----------------------------------------------------------------------------------------	----------	--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

基本施策5 教育環境の充実と学校施設の整備

45	学校改築事業 《教育費○一般管理経費、○小学校改築事業、○中学校改築事業》 〔教育企画課〕	予算 決算	253,438 182,853	第一中学校及び第五中学校について、改築懇談会委員・学区内在住者・保護者・教職員等の意見を踏まえ、基本設計を完了させた。第五小学校及び井之頭小学校の改築に向け、敷地条件を整理し、設計者選定の準備を整えた。
46	小中学校の感染症防止対策（消毒業務委託） 《教育費○校舎等施設維持管理(小学校費)、○校舎等施設維持管理(中学校費)》 〔教育企画課〕	予算 決算	29,943 26,012	市立小中学校において、放課後の消毒業務を（公社）武蔵野市シルバー人材センターに委託して実施した。新型コロナウイルスの感染を防ぐとともに、教職員による消毒作業の負担を軽減することができた。
47	小中学校体育館バスケットゴール改修 《教育費○校舎等施設維持管理(小学校費)、○校舎等施設維持管理(中学校費)》 〔教育企画課〕	予算 決算	109,261 88,132	第一小学校、第三小学校、第四小学校、千川小学校、井之頭小学校、第二中学校及び第三中学校の吊り下げ式及び固定式のバスケットゴールを更新した。児童、生徒及びその他の利用者がより安全に体育館を利用できるようになった。
48	中学校部活動指導員の配置 《教育費○児童生徒指導》 〔指導課〕	予算 決算	8,732 4,977	部活動指導員を中学校各校に1名配置することで、教員の部活動指導時間が軽減し、教材研究や進路指導、会議等の時間を確保できたほか、指導員による専門的な技術指導を行うことができた。 ・市立中学校全6校合計2,588時間配置、教員の部活動指導時間を1,342時間軽減した。
49	授業の質の向上と教員の働き方改革の推進（市講師及び学習指導補助員の配置と学習支援教室の実施） 《教育費○児童生徒指導》 〔指導課〕	予算 決算	56,436 47,412	市講師や学習指導補助員の配置による教員の持ち時数削減及び学習指導補助、学習支援教室の実施による補充的な学習指導により、教員の働き方改革の推進、教材研究等の充実や個に応じた指導を行い、授業の質の向上を図ることができた。特に単独で教科指導を行うことのできる市講師については、小学校では学級担任に代わり外国語（英語）、理科、家庭科、書写、音楽（低学年）、図工（低学年）など各校の実態に応じて配置され、専門性の高い授業が実施された。 ・市講師9,860時間、学習支援教室指導員1,907時間、学習指導補助員6,883時間
50	新学校給食桜堤調理場（仮称）の建設事業 《教育費○新学校給食桜堤調理場（仮称）建設事業》 〔教育支援課〕	予算 決算	2,296,223 2,244,693	児童・生徒数の増加に対応し市立小中学校に給食を安定的に供給するため行っていた新学校給食桜堤調理場の建設が完了した。令和3年度2学期から稼働し、中学校6校・小学校2校への給食提供を開始した。

(3) 平和・文化・市民生活

基本施策1 多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築

1	平和・憲法啓発事業 《総務費○平和・憲法啓発事業》 [市民活動推進課]	予算 決算	6,344 3,531	戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくため、市民等による実行委員会との協働により、令和3年5月に憲法月間記念行事（憲法にちなんだ作品の募集・展示、石川健治氏講演会）、8月に夏季平和事業（パネル展、映画「おかあさんの被爆ピアノ」上映会（一般向けイベント）、映画「うしろの正面だあれ」上映会（子ども向けイベント）を実施。また平和の日条例制定10周年を踏まえ、令和3年10月中旬から11月下旬まで大石芳野写真展、11月には平和の日イベント（パネル展、平和の集い、馬場あき子氏講演会等）を実施した。青少年平和交流派遣事業は長崎市への派遣は中止となったが、青少年ピースフォーラムに11人の中学生・高校生がオンラインで参加した。 令和4年3月には、ロシアによるウクライナ侵攻を受け、市民の平和意識醸成のため、ウクライナ出身のウクライナ民族楽器奏者カテリーナ氏による平和を願うミニコンサートを開催した。
2	男女平等推進施策事業 《総務費○男女平等推進施策事業》 [市民活動推進課]	予算 決算	19,059 16,698	男女平等の推進に関する条例に基づき、研修・啓発、情報収集・提供、団体支援、相談事業、調査研究を行った。また、性の多様性への理解促進を図り、パートナーシップ制度を導入するため、武蔵野市男女平等の推進に関する条例の改正を行った。
3	窓口業務での通訳・翻訳サービスの試行導入 《総務費○一般管理経費》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	303 303	外国籍市民が市役所窓口でコミュニケーションをとる際の言語障壁を取り除くため、タブレット端末を用いたオンライン通訳サービスと翻訳サービスを試行導入した。 ・通訳サービス 利用件数：8言語50件（延1,170分） ・翻訳サービス 利用件数：4言語2件
4	外国籍市民意識調査 《総務費○一般管理経費》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	5,597 5,280	武蔵野市第六期長期計画に記載の「武蔵野市ならではの地域共生社会の推進」、「外国籍市民の支援」を実現するための第一歩として、外国籍市民の意識や外国籍市民に対する地域社会の意識等について調査を行った。 ・アンケート調査 対象者数：2,841人、回収件数：1,225件 ・インタビュー 実施人数：58人 ・属性別ヒアリング調査（アンケート調査に回答しにくいことが予想される方や外国籍市民と関わりがある日本人など） 実施人数：23人
5	国際交流協会事業 《総務費○国際交流協会事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	74,500 74,500	外国籍市民の生活やコミュニケーション支援を行う（公財）武蔵野市国際交流協会に対して運営費補助金を交付し、多文化共生の社会づくりに向けた取組みの推進を支援した。

基本施策2 災害への備えの拡充

6	震災復興に関する基本方針（仮称）作成 《総務費○企画調整》 [企画調整課、防災課、まちづくり推進課]	予算 決算	2,400 2,398	災害発生後に生じる技術的・組織的・財政的な多くの課題等に対応できるよう、都市・住宅・くらし・産業の4つの復興課題について、本市に適した震災復興のあり方、進め方を検討し、震災復興に関する基本方針及び具体的な職員の行動を定めた武蔵野市震災復興マニュアル暫定版を作成した。
7	国土強靱化地域計画の策定 《土木費○一般管理経費》 [まちづくり推進課、企画調整課、防災課]	予算 決算	4,800 3,850	防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を総合的な取組みとして計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進するために、武蔵野市国土強靱化地域計画を策定した。
8	特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 《土木費○住宅対策事業》 [住宅対策課]	予算 決算	127,167 59,220	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進するため、耐震化（補強設計・耐震改修）に要する費用の一部を助成した。 【補強設計 2件】、【耐震改修 2件】

9	民間住宅耐震化促進事業（耐震アドバイザー・耐震化助成） 《土木費○住宅対策事業》 [住宅対策課]	予算 決算	115,506 94,662	耐震化率95%を達成するため、住宅やマンションの耐震化に要する費用の一部助成や専門家を派遣し住宅の耐震化を支援した。 【アドバイザー派遣 戸建等32件、マンション0件】 【民間住宅耐震化助成 診断9件、設計4件、改修・建替え・除却32件】
10	消火栓の計画的改修 《消防費○防火水槽・消火栓維持管理》 [防災課]	予算 決算	18,000 15,083	計画的に消火栓を更新し、災害時に確実に使用できるよう、令和3年度は8か所の消火栓を改修した。
11	災害時物資供給マニュアルの策定 《消防費○一般管理経費》 [防災課]	予算 決算	4,455 4,308	災害時物資供給マニュアルの策定に向け、検討会議を開催し協定関係機関などと協議した。令和2年度作成の素案を精査し、本市及び関係機関の体制、役割分担並びに物資及び情報の流れの整理・検討を行い、マニュアルの最終案を作成した。
12	地域防災計画の見直し 《消防費○一般管理経費》 [防災課]	予算 決算	4,800 4,565	令和4年度中の武蔵野市地域防災計画の見直しを目標として、計画修正支援業務のプロポーザルを行い、支援業者を決定した。専門的支援のもとで庁内課題の洗出し、修正概要の検討、市民防災意識調査などを行った。
13	防災活動拠点電源確保事業 《消防費○一般管理経費》 [防災課]	予算 決算	8,352 5,900	地域コミュニティの防災活動拠点における電源を確保するため、コミュニティセンターを拠点とする14か所の自主防災組織に対して、390Whの電力を蓄えられる蓄電池及び充電用のソーラーパネルなどを2セットずつ配備した。

基本施策3 安全・安心なまちづくり

14	生活安全対策事業 《総務費○生活安全対策事業》 [安全対策課]	予算 決算	132,049 137,954	市民安全パトロール隊、ホワイトイーグル、ブルーキャップ、吉祥寺ミッドナイトパトロール隊などの見守り・警戒活動により、市内の刑法犯認知件数は減少した。また、防犯活動を行う商店会などの地域団体に対し、街頭防犯カメラの設置費用及び運用経費に対する支援を行い、設置の促進を図ることで、犯罪の未然防止に取り組んだ。
15	自宅療養者支援事業 《総務費○危機管理対策事業》 [安全対策課]	予算 決算	0 17,932	令和2年度に速やかに開設した自宅療養者支援窓口は、新型コロナウイルス感染拡大で自宅療養者が大幅に増えたことを受け、令和3年9月1日から自宅療養者支援センターに改称し、機能を拡充した。自宅療養を余儀なくされている方に対し、食料品・日用品の支援、電話による安否確認、心配事の相談受け付けなどを行い、自宅療養者の急な増加にも対応した。
16	危機管理対策事業 《総務費○危機管理対策事業》 [安全対策課、防災課]	予算 決算	4,403 2,277	新型コロナウイルス感染症への対策として、衛生用品の購入及び備蓄並びに市民・来街者を対象とした広報活動を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、不発弾処理対策訓練は内部研修に変更し、テロ対策訓練は中止した。
17	消費生活センターの管理運営 《商工費○消費生活センターの運営事業》 [産業振興課]	予算 決算	20,934 19,327	令和4年4月に施行された成年年齢引き下げに関して、中学3年生に向けて出前講座を行った。その他啓発の講座等は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い事業を実施した。（一部中止） ・消費生活相談：1,172件 ・消費生活講座：7回、受講者延219人 ・消費生活展：令和3年9月16日～18日、武蔵野プレイスで展示のみ

基本施策4 地域社会と市民活動の活性化

18	コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動の推進 《総務費○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動》 [市民活動推進課]	予算 決算	514,953 475,229	市民によるコミュニティづくりが活発に行われるよう、16のコミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動の支援を行うとともに、オンラインの取組みを支援するため、コミュニティセンターにWi-Fi環境を整備した。また、施設の適切な維持修繕を行うとともに、武蔵野市コミュニティセンター整備計画を策定した。
----	---------------------------------------------------------------------------------	----------	--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

19	コミュニティ構想50周年記念事業 《総務費○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動》 [市民活動推進課]	予算 決算	1,533 917	コミュニティ構想の公表から50年の節目にあたり、構想の理念・目的等を再確認し、今後を展望することを目的として、シンポジウムを開催するとともに本市のコミュニティ政策の歴史的な変遷を取りまとめた記念誌を作成した。
20	次期市民活動促進基本計画の策定 《総務費○市民活動促進》 [市民活動推進課]	予算 決算	4,982 4,985	地域における公益的な市民活動の促進と活性化を図るため、第二期武蔵野市市民活動促進基本計画策定委員会の報告を踏まえ、令和4年度から8年間の計画期間とする第二期武蔵野市市民活動促進基本計画を策定した。

基本施策5 豊かで多様な文化の醸成

21	Sports for All事業等の実施 《総務費○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業》 [企画調整課]	予算 決算	5,000 1,050	平成27年度から、東京2020大会等に向けたイベントを「Sports for All」という名称で実施している。令和3年度は、東京2020オリンピック競技大会に出場した日本代表選手をゲストとして迎え、Sports for All 水球等を開催した。
22	東京2020大会等に向けた取組み 《総務費○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業》 [企画調整課]	予算 決算	49,308 21,884	開催の延期されていた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレー点火セレモニーなどを、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ無観客で行った。実行委員会として、市内82団体(市含む。)による総会と5つの分科会の設置、市民が主体のスポーツボランティア「HANDS」の運営や、市ゆかりの選手応援プロジェクト事業などを実施した。
23	文化施設使用料の減額 《総務費○市民文化会館の管理運営、○芸能劇場の管理運営、○公会堂の管理運営、○スイングホールの管理運営、○吉祥寺美術館の管理運営、○松露庵の管理運営、○吉祥寺シアターの管理運営、○かたらいの道 市民スペースの管理運営》 [市民活動推進課]	予算 決算	1,014 14,235	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている劇場、ホール等の活気を取り戻し、まちの活性化を図るため、文化施設の使用料を減額し、市内における公演、展覧会等の開催を支援した。(歳入減額分を含む減免総額:39,430千円)
24	武蔵野アール・ブリュット2021の開催 《総務費○吉祥寺美術館の管理運営》 [市民活動推進課]	予算 決算	3,392 1,487	実行委員会による企画・運営で、既成の表現方法にとらわれずに独自の方法と発想で制作された美術作品(アール・ブリュット)展を開催した。「みる・つくる・つながる」をテーマに、「つくる」側と「みる」側の双方が「つながる」取組みなども実施した。Tokyo Tokyo FESTIVAL助成として、事務局である文化事業団が、外部補助金1,000千円を活用した。来場者 延565人
25	アメリカ・ラボック市との相互交流事業 《総務費○アメリカ・ラボック市との相互交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	3,775 0	テキサス州ラボック市から同市の中学生を6泊7日で受け入れ、友好親善と相互理解を深める予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。代替として、インスタグラムによる交流を行った。
26	韓国との相互交流事業 《総務費○韓国との相互交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	2,361 101	ソウル特別市江東区からの交流団を4泊5日で受け入れる予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。代替事業として、本市在住・在学の中高生14人と江東区の中高生11人による5日間のオンライン交流事業を実施した。 実施日:令和4年1月17日、18日、20日、22日、23日
27	ルーマニア・ブラショフ市との交流事業 《総務費○ルーマニア・ブラショフ市との交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	8,200 927	ブラショフ市に両市共同で設置した日本武蔵野センターのあり方の見直しについて協議し、センターを通じた交流を解消し市民同士の相互交流へ発展させることで合意した。
28	友好都市交流事業 《総務費○友好都市交流事業》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	2,934 3	新型コロナウイルス感染症の影響により国内友好都市への市民交流ツアーを中止した。友好都市宿泊施設利用助成事業は、1年のほとんどの期間を中止とした。

29	ホストタウン事業の推進 《総務費○ホストタウン事業の推進》 [多文化共生・交流課]	予算 決算	5,865 1,060	ルーマニアホストタウンムサシノ応援メッセージ動画の作成や、SNSによる応援企画等を行った。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の大部分が無観客での開催となったため観戦を中止した。パラリンピック大会期間中、選手村に滞在するルーマニア・パラリンピック選手団とのオンライン交流会を3回にわたって実施した。 ・ルーマニアホストタウンムサシノ応援メッセージ動画の作成 参加者数：457人 ・オンライン交流会 実施日：令和3年8月22日、28日、9月4日 延参加者数：35人
30	友好都市アンテナショップ運営事業 《商工費○友好都市アンテナショップ運営事業》 [産業振興課]	予算 決算	6,038 4,958	友好都市のPRや物産品の販売、観光情報の発信などを行う友好都市アンテナショップを運営し、友好都市との交流、親善の拠点の役割を担うとともに、地元商店街の活性化に寄与した。
31	児童生徒のオリンピック・パラリンピック観戦 《教育費○児童生徒指導、○知的障害学級運営》 [指導課、教育支援課]	予算 決算	3,384 0	市立小中学校が学校単位で東京2020オリンピック・パラリンピック大会を観戦するにあたり、看護師同行などにより、安全に観戦できる環境を整えることを企図したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、児童生徒の安全を考慮し、観戦を中止した。
32	文化・スポーツ・生涯学習ネット及び情報通信基盤の更新 《総務費○市民文化会館の管理運営、教育費○体育施設一般管理経費》 [市民活動推進課、生涯学習スポーツ課]	予算 決算	25,844 27,603	文化施設、体育施設、武蔵野プレイスの施設・講座予約、公演等チケット販売のシステムの更新と、システムの安定的な稼働と業務効率化のための情報通信基盤の更新を支援し、利用者の操作性・利便性向上を図った。
33	武蔵野文化事業団と武蔵野生涯学習振興事業団の合併に向けたホームページ等の更新 《総務費○市民文化会館の管理運営、教育費○体育施設一般管理経費》 [市民活動推進課、生涯学習スポーツ課]	予算 決算	3,716 2,440	(公財)武蔵野文化事業団と(公財)武蔵野生涯学習振興事業団の合併に合わせて、市民・利用者にとってより分かりやすい情報提供が可能となるよう、事業団のホームページの統一及び更新を支援した。

基本施策6 多様な学びや運動・スポーツ活動の推進

34	むさしのサイエンスフェスタの開催 《教育費○学級・講座開催事業》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	2,958 1,092	小中学生が実験等の体験学習を通して科学に対する興味を深められるよう、地域団体・企業・大学と協働して行う事業であり、土曜学校サイエンスクラブの参加児童が学びの成果を市民に還元する「学びおくり」の機会としても位置付けている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数を制限し、開催した。
35	文化財保護普及事業 《教育費○文化財保護普及事業》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	21,809 17,455	文化財の保存及び活用を図るため、文化財保護委員会議の開催、埋蔵文化財包蔵地の調査、市指定文化財に対する補助金交付等を行った。文化財の普及啓発を図るため、文化財保護委員による特別講義、古文書読解講座、むさしのばやしチビッコ教室を開催した。
36	武蔵野ふるさと歴史館の管理運営 《教育費○武蔵野ふるさと歴史館の管理運営》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	85,176 78,303	ふるさと歴史館第2期管理運営基本方針に基づき運営を行った。地域の歴史や文化等に対する理解啓発を図るため、企画展示(年4回)及び関連事業等を実施した。学校教育と連携を行い、市立小中学校の見学受け入れ、出張講義を実施した。歴史公文書の選別・移管・保存等を実施した。 ・令和3年度来館者数 45,245人
37	土曜学校事業 《教育費○土曜学校事業》 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	2,022 1,046	小中学生を対象に、様々な体験型の生涯学習のきっかけづくりの場として実施した。事業の一部を(公財)武蔵野生涯学習振興事業団に委託した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を制限し実施した。

38	ひと・まち・情報 創造館 武蔵野 プレイスの管理運営	予算 決算	567, 581 543, 934	図書館、生涯学習活動支援など4機能が相互連携する事業に取り組んだほか、開館10周年イベントを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間の短縮、利用定員制限等を余儀なくされた。事業は、Webや会場、両者併用のハイブリッド型等を工夫し、安全第一に実施した。 ・令和3年度来館者数 1,288,692人
	《教育費○一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]			
39	武蔵野市スポーツ振興計画の改定	予算 決算	5, 822 5, 869	ラグビーワールドカップ2019 TM や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて変化した意識や環境、多様化する価値観に基づいた今後のスポーツ施策や、武蔵野総合体育館大規模改修、プールのあり方について検討し、計画の改定を行った。計画の名称を市民の自発的、主体的な活動に対して支援する「推進」計画に変更した。
	《教育費○一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]			
40	体験しよう！パラ水泳	予算 決算	600 0	障害者への理解促進、障害者スポーツの周知を図り、障害の有無にかかわらず、気軽にスポーツをすることができる社会を目指すため、温水プールにおいてブラインド水泳（視覚障害）体験を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
	《教育費○各種体育事業》 [生涯学習スポーツ課]			
41	総合体育館外壁・屋上防水等工事	予算 決算	300, 000 280, 923	令和2年度の実施設計に基づき、総合体育館の外壁タイル改修、屋上防水等の工事を行っている。工期は令和3年9月から令和4年10月までの予定。
	《教育費○体育施設一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]			
42	総合体育館大規模改修工事基本計画の策定	予算 決算	17, 538 17, 156	総合体育館の長寿命化を図るため、保全と機能改善等の大規模工事に向けて基本計画の策定を行った。着工時期が令和6年度から令和8年度に変更となったことに伴い、令和4年度以降も計画策定を継続し、大規模改修工事に先立ち必要となる保全工事等の精査を行う予定。
	《教育費○体育施設一般管理経費》 [生涯学習スポーツ課]			
43	中央図書館エレベーター改修工事	予算 決算	43, 136 28, 930	中央図書館利用における安全性を向上させるため、利用者用エレベーターの改修工事を実施した。
	《教育費○一般管理経費》 [図書館]			

基本施策7 まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興

44	勤労者互助会補助	予算 決算	23, 000 23, 000	市内の中小企業の事業主及び勤労者を対象に福利厚生事業などを行う武蔵野市勤労者互助会に対し、安定した運営を支援するため、補助金を交付した。
	《労働費○勤労者互助会の運営補助》 [産業振興課]			
45	認定農業者等経営改善支援補助事業	予算 決算	10, 890 5, 029	認定農業者及び都市型認定農業者が5年後の経営改善目標を達成するために農機具材購入などの基盤整備を行う場合、1戸当たり年間66万円（都市型は33万円）を上限に経費の2分の1以内を補助した。 ・補助件数：17件
	《農業費○農業振興事業》 [産業振興課]			
46	農業振興基本計画中間見直し	予算 決算	2, 993 1, 884	武蔵野市農業振興基本計画見直し検討委員会を設置し、計5回にわたり委員会を開催した。農業者及び市民へのアンケート調査、パブリックコメント（意見聴取手続）、武蔵野市農業委員会やJA東京むさし武蔵野地区への意見照会、東京都知事の同意等を経て、武蔵野市農業振興基本計画を改定した。
	《農業費○農業振興事業》 [産業振興課]			
47	商店街チャレンジ戦略支援事業	予算 決算	37, 525 37, 021	東京都と連携した「商店街チャレンジ戦略支援事業」を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった事業もあったが、商店会が主催するイベント事業などへの支援を行い、商業の振興を図った。 ・イベント事業 13件 28,568,000円 ・地域力向上事業 19件 8,138,000円 ・政策課題対応型 1件 315,000円
	《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]			
48	商工会議所補助金	予算 決算	30, 000 31, 388	「Musashinoごちそうフェスタ」、「武蔵境活性化委員会補助事業」といった商工会議所が実施するイベントなどの事業に係る経費を補助した。令和3年度は空調工事実施に伴う、一時移転に係る事業に関する経費の補助も行った。
	《商工費○商工振興事業》 [産業振興課]			

49	商店会組織力強化のための企画提案型補助金 《商工費○商工振興事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	6,000 2,794	市内商店会が各地域の特性に合わせた活性化事業を自ら考え実施できるように、商店会が組織力を必要とする商業活性化事業の企画を募り、補助事業相談会による審査を経て、実施が決定されたものについて補助を行うもので、令和3年度はデジタルスタンプラリー事業である「むちゅーdeデジタルスタンプラリー」など、3事業を対象とした。
50	創業・事業承継支援 《商工費○商工振興事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	2,112 712	令和3年10月1日から、出店支援・事業承継支援を新たに追加し、「むさしの創業サポートネット」を「むさしの創業・事業承継サポートネット」に再編した。また、本サポートネット周知のため、新たにパンフレットを作成した。さらに、支援体制を充実させるため、市内創業支援施設またはシェアキッチン等の機能を持つ施設を「認定創業支援施設」として連携し、広報協力を開始した。 相談実績 ・創業個別相談（日本政策金融公庫：毎週水曜日） 38件 ・創業個別相談（多摩信用金庫：第2、第4月曜日）35件 ・出店個別相談（（公社）東京都宅地建物取引業協会・全日本不動産協会：第1、第3月曜日） 5件 ・事業承継個別相談（東京都多摩地域事業承継・引継ぎ支援センター：第1火曜日） 3件
51	コンテンツを活用した連携事業 《商工費○商工振興事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	1,100 0	コンテンツを活かした連携事業の検討に資するため、市内コンテンツ（アニメ・マンガ）産業に関する基礎調査並びに事例調査・ヒアリング調査等を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。
52	路線商業活性化総合支援事業 《商工費○路線商業活性化総合支援事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	6,600 6,600	路線商店街の「にぎわい」、「ふれあい」の創出や活力ある商店街づくりのために、複数の路線商店会が実施するスタンプ等共同事業を支援した。
53	中小規模事業者等への補助事業（利子補給等事業） 《商工費○利子補給等事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	72,307 50,610	事業資金融資あっせん制度の利用者に対して利子補給及び信用保証料の補助を行い、経営の安定と事業の発展に寄与した。 ・中小規模事業者事業資金融資利子補給 1,328件 29,732,159円 ・中小規模事業者事業資金融資信用保証料補助 120件 11,574,056円 ・小規模事業者経営改善資金融資利子補給 175件 3,913,982円
54	まちの魅力発信と観光推進 《商工費○観光振興事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	65,654 65,393	観光機構等と連携し、案内マップ等の改訂や、密集を伴わないイベント補助などを行った。新型コロナウイルス感染拡大による大幅なインバウンド需要減少を鑑み、観光ガイド育成など一部事業は中止または規模縮小した。
55	武蔵野市ふるさと応援寄附 《商工費○武蔵野市ふるさと応援寄附》 〔産業振興課〕	予算 決算	36,001 32,342	「市の魅力発信」、「地域産業振興」、「市政の充実と未来への財源確保」の3つの基本コンセプトを軸に、市内外の方に共感していただけるような寄附金の使い道や魅力的な返礼品を用意し、積極的に市のPRを行った。 寄附件数(入金ベース)：1,059件 寄附金額(入金ベース)：23,049,293円
56	緊急経済対策の効果検証 《商工費○中小企業者等追加経済対策事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	8,030 6,649	令和2年度に実施した緊急経済対策について、その効果を検証するとともに、得られた知見を、市の産業振興施策に引き続き活用し、コロナ禍における新たな経済対策の検討に資することを目的として調査を実施した。 ・市内事業者へのアンケート調査4,173件（回答1,372件） ・市内事業者へのインタビュー調査20件 ・市民対象調査2,000件（回答875件）
57	商店会活性化出店支援金 《商工費○中小企業者等追加経済対策事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	22,108 78,980	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に対する緊急経済対策として、市内の空き店舗や空き事務所に出店し、商店会等に加入した中小企業者等に対し最大60万円（出店時30万円、出店後6か月経過時30万円）を支給した。 令和2年度支給実績（出店後6か月経過時）110件、33,000,000円 令和3年度支給実績（出店時）118件、35,400,000円、（出店後6か月経過時）28件、8,400,000円

58	くらし地域応援券事業 《商工費〇くらし地域応援券事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	0 853,883	新型コロナウイルス感染症の影響に対する緊急経済対策として、市民への生活支援と市内事業者支援を目的に、1,000円以上の買い物ごとに1枚使える500円分の割引券11枚（5,500円分）を全市民に配付した。 使用期間：令和4年2月1日から令和4年3月31日まで 換金額：758,039,500円 使用率：93.0%
59	中小企業者等特別支援金事業 《商工費〇中小企業者等特別支援金事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	0 56,882	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年中の事業収入等が令和元年（平成31年）中の事業収入等と比較して30%以上減少している中小企業者等に対して10万円、または20万円（市内に複数店舗等を有する場合）を支給した。また、令和4年2月から申請要件の緩和（①事業収入等の減少要件「30%→10%以上」、②市内事業開始日要件「令和元年12月31日→令和2年12月31日以前」）及び申請期限の延長（令和4年1月31日→3月15日）を行った。 実施期間：令和3年11月1日から令和4年3月15日まで 支給実績：522件、56,300,000円
60	キャッシュレスポイント還元事業 《商工費〇キャッシュレス決済によるポイント還元事業》 〔産業振興課〕	予算 決算	0 88,949	市内加盟店にてd払い又はauPAYで決済を行うと、期間中1事業者当たり3,000円分上限でポイント（残高）を還元する事業を実施した。 実施期間：令和3年12月1日～12月28日 実施主体：商工会議所 対象店舗：1,472店舗 還元率：それぞれ20% 還元額：69,757,212円（d払い：40,614,457円、auPAY：29,142,755円）
61	特定生産緑地の指定手続き 《土木費〇一般管理経費》 〔まちづくり推進課〕	予算 決算	4,400 3,850	農地を維持・保全していくため、平成29年改正の生産緑地法に基づき、現地調査、都市計画審議会への諮問等を経て特定生産緑地として指定した。指定希望地区については1地区を残し全て終了した。

(4) 緑・環境

基本施策1 刻々と変化する環境問題への対応

1	環境啓発施設事業 《衛生費〇環境啓発施設事業》 〔環境政策課〕	予算 決算	14,039 10,119	新型コロナウイルスワクチン接種会場としての運用により、むさしのエコreゾートでの開館事業を縮小して実施した。自由来館・施設見学者数42,177人 環境の学校連続講座全5回24人、環境の学校Greenプロジェクト全4回15人、環境の学校PRプロジェクト2期29人が受講した。環境展来館者数6,013人、緑のカーテン事業152世帯、環境啓発事業費補助2団体、環境啓発冊子配布2,344部、SDGs展示等の啓発事業を実施した。環境フェスタでは、駅周辺の商業施設等でのアウトリーチ事業、若年層による環境市民団体・企業のインタビューのWeb掲載を実施した。むさしのエコ・チャレンジでの環境市民団体の出展、事業参加者の活動成果発表及び交流の場づくりなどを行った。
2	フードバンク活動団体支援事業 《衛生費〇ごみ減量と資源化推進事業》 〔ごみ総合対策課、環境政策課〕	予算 決算	1,000 968	食品ロスの削減を図るため、フードバンク活動団体に提供された食料を保管する倉庫及び冷蔵庫を購入し、令和4年3月にむさしのエコreゾートに設置した。
3	環境部動画啓発プロジェクト 《総務費〇広報活動、衛生費〇一般管理経費》 〔環境政策課、ごみ総合対策課、下水道課、緑のまち推進課、秘書広報課〕	予算 決算	470 371	環境部各課の施策について、わかりやすく親しみやすく伝えるように、「3Rのうた」、「武蔵野市で出会えるかもしれない生きものたち」などの動画10本を作成し、YouTubeやインスタグラムなどのSNSを活用してPR・啓発を行った。

基本施策2 地球温暖化対策の推進

4	効率的なエネルギー活用推進助成事業 《衛生費〇環境対策推進事業》 〔環境政策課〕	予算 決算	13,850 17,276	家庭における効率的なエネルギー活用を推進するため、太陽光発電システム・エネファームなどの設備の設置や既設窓の断熱改修に係る費用の一部助成を行った。 太陽光発電システム：41件、エネファーム：91件、HEMS：46件、蓄電池：43件、既設窓断熱改修：36件
---	----------------------------------------------------	----------	------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5	雨水浸透施設等助成事業 《衛生費〇水環境等対策推進事業》 [下水道課]	予算 決算	35,700 18,018	住宅への雨水浸透施設や雨水タンクの設置を促進するため、材料費や設置費に対して助成金を交付し、治水、利水、水循環の推進を図った。 ・助成件数 雨水浸透施設 43件（既存住宅 36件・新築住宅 7件） 雨水タンク 36件（小型 16件・中型 20件）
6	環境舗装事業 《土木費〇環境舗装事業》 [交通企画課]	予算 決算	19,677 19,107	生活道路改修の際に、透水性舗装を施工し、雨水の流出抑制や地下水の涵養を図るとともに、道路浸透ますを設置した。 透水性舗装：面積442.0㎡、延長101.5m 道路浸透ます：4か所
7	雨水貯留浸透施設設置事業 《下水道事業会計〇雨水貯留浸透施設設置事業》 [下水道課]	予算 決算	120,000 95,510	近年増大している局地的大雨等による浸水被害の軽減及び水環境の保全を図るため、桜野小学校の雨水貯留浸透施設の設置工事、北町4丁目地内の浸水対策施設の設置検討等を行った。

基本施策3 「緑」を基軸としたまちづくりの推進

8	吉祥寺本町四丁目寄贈物件（旧赤星邸）の利活用検討及び調査 《総務費〇普通財産の維持管理、〇資産活用事業》 [資産活用課]	予算 決算	17,256 16,828	耐震診断及びアスベスト調査をするとともに、登録有形文化財の申請手続きを行った。また庁内ワーキングを設置し、今後の利活用検討に向けて関係法令の整理を行った。
9	公園等建設事業 《土木費〇公園等建設事業》 [緑のまち推進課]	予算 決算	107,486 542,276	魅力的で安全安心な潤いある都市環境の推進を目指し、公園施設の改修を行うとともに、子どもたちの遊び場の充実を図るため、さかい西公園の木製複合遊具の更新やこうちゃん公園のコンクリート製遊具の改修及び伏見通り公園出入口のバリアフリー化を実施し、西久保3丁目に新たな公園用地（758㎡）の買い戻しを行った。また、良好な桜並木保全のため不健全な桜の植替えを行った。 木製複合遊具は「公共施設への多摩産材利用促進プロジェクト事業補助金」、用地の買い戻しは「緑の保全創出に関する新たな補助事業補助金（緑あふれる公園緑地等整備事業補助金）」と公園緑化基金を活用した。
10	保存樹林等の指定 《土木費〇緑化推進事業》 [緑のまち推進課]	予算 決算	18,605 17,070	民有地の緑を守る一環として、保存樹林などの指定制度により、所有者の適正な維持管理を支援するため、助成金の交付、樹木医の派遣及び倒木保険に加入した。 【保存樹林などの指定】保存樹木総数980本、生垣総延長4,559m、保存樹林総数4件、総面積7,018㎡ 【樹木診断】4か所
11	二俣尾・武蔵野市民の森の充実と奥多摩の森林整備 《土木費〇緑化推進事業》 [緑のまち推進課]	予算 決算	7,754 7,392	森林が持つ水源涵養、地球温暖化防止などの多面的機能に着目し、自然体験などから自然環境、自然保護の関心を高め、さまざまな主体と連携し森林保護・育成などを推進した。 【内容】二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書に定める協定区域のうち、森林整備区域4.09haの整備及び利用啓発区域5.77haを活用した。二俣尾自然体験館及び管理棟の維持管理を行った。新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、森の市民講座を2回、森林整備啓発事業（自然観察会）を2回開催した。また、奥多摩・武蔵野の森に関する森林整備協定書に定める協定区域のうち、3.3haの保全整備を実施した。
12	緑ボランティア団体事業助成 《土木費〇緑化推進事業》 [緑のまち推進課]	予算 決算	4,020 3,374	市立公園などを拠点として緑の保全、緑化推進及び公園などの維持に関する活動を行っている緑ボランティア27団体に対し、その事業経費の一部を助成し、活動の発展を促すとともに、団体間の横の繋がりが図られるよう連絡協議会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策として、イベントの中止など例年より活動規模を縮小した。
13	未来へ育て！苗木すくすく大木計画 《土木費〇緑化推進事業》 [緑のまち推進課]	予算 決算	876 571	緑豊かな都市環境を創出するため、減少傾向にある民間の緑を育むことを目的とし、新築記念樹など、配布方法及び対象をさまざまに展開して相乗的な緑化推進、啓発効果を図った。 【配布実績】 配布樹種：ハナミズキ、コブシ、シマトネリコ、モミジ、ヒメシャラ 新築記念樹：74本（令和3年6月、9月、12月、令和4年3月）、一般配布：45本（令和4年3月）

14	仙川水辺環境整備事業 《土木費○仙川水辺環境整備事業》 [緑のまち推進課]	予算 決算	12,442 12,397	「仙川水辺環境整備基本計画（仙川リメイク）の評価と今後の方向性について」に基づき、市内唯一の一級河川である仙川を生態系豊かな水辺空間として保全していくため、整備済区間の維持管理を行った。
----	-------------------------------------------------	----------	------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

基本施策4 省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築

15	集団回収事業 《衛生費○ごみ減量と資源化推進事業》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	27,070 23,569	資源の再利用の促進、ごみ減量及びごみ問題に対する市民の関心を高めるため、集団回収に対する支援を行った。また、令和3年度からの団体事業費補助金の減額と団体事務費補助を廃止した。 188団体 回収量2,348 t
16	塵芥処理事業（収集委託料） 《衛生費○塵芥処理事業》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	1,394,142 1,359,244	家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬を委託した。なお、可燃ごみの収集運搬業務については、苦情対応等を行う緊急対応業務も含めて一体的に委託した。
17	武蔵野クリーンセンターの安全・安定稼働 《衛生費○武蔵野クリーンセンターの管理運営》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	667,291 635,601	運営モニタリングなどで施設運營業務の状況を適宜確認しながら、施設の安全・安定稼働を実施した。また、夜間電力の有効活用によりエネルギー地産地消を推進した。

基本施策5 様々な環境の変化に対応した良好な生活環境の確保

18	害虫等駆除対策事業、狂犬病予防・動物愛護等啓発事業 《衛生費○害虫等駆除対策事業、○狂犬病予防・動物愛護等啓発事業》 [環境政策課]	予算 決算	6,233 5,279	害虫等駆除対策事業については、ネズミ侵入防止対策14件及びハクビシン・アライグマ防除対策23件を実施し、スズメバチなど駆除費用に対して180件の助成を行った。 狂犬病予防事業については、犬の新規登録438件、再交付51件、注射済票交付3,629件などを行った。 動物愛護等啓発事業については、犬のしつけ方教室及び猫セミナーを動画配信にて実施し、動物愛護啓発の推進と飼い主マナーの向上を図った。
19	公害対策・調査・処理 《衛生費○公害対策事業》 [環境政策課]	予算 決算	26,616 21,937	公害苦情相談の受付対応を通じて、公害発生の未然予防、市内環境の保全を図るとともに、常時監視と随時調査による環境状況の把握、工場や指定作業場に対する指導、その他公害要因対象者への指導などを行った。 ・苦情の受付件数694件（大気41件、騒音130件、振動24件、悪臭20件、その他479件）
20	武蔵境駅前公衆便所移設準備 《衛生費○公衆便所の維持管理》 [ごみ総合対策課]	予算 決算	8,797 8,690	便器の洋式化及びバリアフリー化を図るため、令和3年度は移設工事のための設計を実施した。
21	受動喫煙防止の推進 《衛生費○駅前周辺清掃事業》 [ごみ総合対策課、健康課]	予算 決算	32,362 21,114	まちの美化、路上禁煙地区内での禁煙の徹底と受動喫煙防止を推進するため、吉祥寺駅と武蔵境駅の喫煙トレーラーハウスの利用を開始した。また、喫煙マナーや受動喫煙の健康面での影響について周知啓発を行った。
22	放射線に関する対策 《各款共通○一般管理経費、○放射線対策事業、○武蔵野クリーンセンターの管理運営》《水道事業会計》 [環境政策課、ごみ総合対策課、緑のまち推進課、子ども育成課、教育企画課、指導課、教育支援課、工務課]	予算 決算	7,802 4,608	空間放射線量測定、水質検査、学校・保育園給食食材放射性物質検査などを確実に継続的に実施し、測定結果についてホームページなどで市民に情報提供を行った。

(5) 都市基盤

基本施策1 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり

1	用途地域の一齐点検 《土木費○一般管理経費》 [まちづくり推進課]	予算 決算	6,061 5,170	東京都の依頼によって都内で一齐に進められている区域区分及び用途地域等の見直しについて、最新の地形図を基に境界根拠等の点検を実施し、地形地物の変化等との整合を図ったうえで、都市計画変更のために必要となる資料を作成した。
2	景観道路事業 《土木費○景観道路事業》 [交通企画課]	予算 決算	238,368 183,570	武蔵野市景観整備路線事業計画（第2次）に基づき、景観整備優先路線の無電柱化の検討及び設計を行った。また、市道第16号線（かたらいの道）の電線共同溝設置工事（整備延長355.86m）等を実施した。

基本施策2 将来にわたり持続性ある都市基盤づくり

3	道路新設改良事業 《土木費○道路新設改良事業》 [交通企画課]	予算 決算	162,320 153,698	武蔵野市道路総合管理計画に基づき、計画的に経年劣化した道路の改修工事を実施した。 施工延長：574.8m 舗装面積：車道2,759㎡、歩道694㎡ 令和2年度に引き続き、市道第73号線道路整備工事を実施した。
4	道路総合管理計画更新 《土木費○道路維持管理》 [道路管理課]	予算 決算	5,800 4,015	計画期間（2018年から2027年まで）の中間見直しに向けた調査を実施し、管理対象施設の精査等を行った。
5	八丁地下道補修設計・玉川人道擁壁補修工事 《土木費○道路維持管理》 [道路管理課]	予算 決算	11,110 5,071	武蔵野市道路総合管理計画に基づき長寿命化を図るため、八丁地下道の補修設計、玉川人道の擁壁補修工事を実施した。
6	大型街路灯LED化事業 《土木費○街路灯維持管理》 [道路管理課]	予算 決算	115,000 79,211	市内約520基の大型街路灯（水銀灯）のうち、令和3年度は東部から中央地区にかけて約260基のLED化を完了し、市民の安全・安心の向上、環境負荷の軽減を図った。
7	橋りょう長寿命化事業 《土木費○橋りょう新設改良事業》 [道路管理課、交通企画課]	予算 決算	152,792 171,464	「武蔵野市橋りょう長寿命化計画」の更新に向けた調査を実施するとともに、当該計画に基づき千川橋ほか6橋の定期点検、しるがね橋及び本村橋の補修設計を実施した。また、よろず橋架け替え工事（令和3年から5年まで）に着手した。
8	配水管網整備推進事業 《水道事業会計○配水管網整備推進事業》 [工務課]	予算 決算	312,597 240,591	災害時にも安全で安定した給水の確保等ができるように、配水管の新設や老朽管の更新などを行い、管路の耐震化を図った。令和3年度末管路耐震化率48.2%（0.5%上昇） ・工事内容 配水管（鋳鉄管）改良工事 2件 148m 配水補助管改良工事 7件 1,350m 受託工事 1件
9	浄水場・水源施設維持更新事業 《水道事業会計○浄水場・水源施設維持更新事業》 [工務課]	予算 決算	165,176 140,899	円滑で効率的な水運用のため、経年劣化した浄水場施設及び水源施設を「施設保全計画」に基づき維持・更新を行い、安全でおいしい水の安定供給を図った。 ・工事内容 浄水場施設工事 2件 水源施設工事 5件
10	下水道ストックマネジメント推進事業 《下水道事業会計○ストックマネジメント推進事業》 [下水道課]	予算 決算	118,425 82,016	武蔵野市下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の点検・調査、修繕・改築を実施した。 点検：13,336m 調査：6,805m 修繕：管きょ設計（47スパン）、管きょ修繕工事（6スパン） 改築：管きょ設計（5スパン）、ポンプ更新（大野田ポンプ所）
11	石神井川排水区雨水幹線整備事業 《下水道事業会計○石神井川排水区雨水幹線整備事業》 [下水道課]	予算 決算	647,062 633,665	老朽化した石神井川排水区の既設雨水管について、新設した雨水幹線への切替え及び閉塞工事等を行うため、東京都都市づくり公社への業務委託、支障移設工事の補償を行った。

12	公共下水道建設事業 《下水道事業会計○公共下水道建設事業》 [下水道課]	予算 決算	98,731 62,406	東京都の道路拡幅事業や下水道管きょの損傷に伴う布設替え等の設計・工事を行った。 設計：主要地方道7号線管きょ布設替え実施設計委託、都市計画道路3・4・24号線管路施設実施設計業務委託 工事：都市計画道路3・4・24号線管きょ布設替え工事、中町二丁目3番先管きょ布設替え工事、主要地方道7号線管きょ撤去工事
13	区部流入及び流域下水道建設・改良負担金 《下水道事業会計○区部流入及び流域下水道建設・改良負担金》 [下水道課]	予算 決算	99,078 78,432	本市が排出する下水の処理を委託等している東京都の水再生センター及び関連下水道幹線等の施設に係る建設及び改良に要する費用を負担した。 森ヶ崎水再生センター建設負担金 52,630千円 多摩川左岸野川流域下水道建設負担金 7,306千円 荒川右岸東京流域下水道建設負担金 5,694千円 流域下水道改良負担金 12,802千円
14	下水道総合計画の見直し 《下水道事業会計○下水道総合計画の見直し》 [下水道課]	予算 決算	928 298	持続的・安定的に質の高い下水道サービスを提供していくため、令和4年度にかけて外部有識者等による武蔵野市下水道総合計画見直し及び下水道事業経営の在り方等検討委員会を設置し、令和3年度は委員会を2回開催し、武蔵野市下水道総合計画(2018)の見直しの検討を行った。

基本施策3 誰もが利用しやすい交通環境の整備

15	自転車のルール・マナー向上と自転車利用環境の整備 《土木費○交通安全対策事業、○自転車対策事業》 [交通企画課]	予算 決算	16,669 14,204	安全教育の充実を図るとともに自転車走行空間整備に関する交通実態調査を行った。 ●安全教育の充実 ・市内で自転車を利用される中学生以上の方を対象に自転車安全利用講習会(武蔵野警察署共催)を28回開催し617人が受講した。 ・企業などへの出張講習会を5回開催し506人が受講した。 ・市内中学校3校に対し、スタント講習会を開催し876人が受講した。 ・自転車出張点検整備を2回実施した。 ・自転車安全利用啓発動画を吉祥寺大型ビジョン及びQuOLa大型ビジョンで放映した。 ●交通実態調査 ・市道第27号線外5路線(市道第27・40・55・60・212・240号線)及び市道第41号線外6路線(市道第41・73・107・191・225・248・252号線)の交通実態調査を行った。 ●武蔵野市自転車等駐車対策協議会 ・協議会を1回開催した。
16	放置自転車対策業務 《土木費○自転車対策事業》 [交通企画課]	予算 決算	179,820 179,799	放置自転車等の放置防止指導・撤去・保管及び返還業務を行った。 ●放置自転車対策業務実績(自転車) ・駅前放置台数 72台(前年度比+18台)※ ・撤去回数 727回(前年度比+18回) ・撤去台数 1,703台(前年度比▲157台) ・返還台数 1,004台(前年度比▲108台) ※平日の午前・午後における、市内3駅(吉祥寺駅・三鷹駅・武蔵境駅)周辺の自転車等停留実態を把握するため毎年実施している調査。午前10時における自転車放置台数
17	ムーバス運行事業 《土木費○ムーバス運行事業》 [交通企画課]	予算 決算	153,527 110,673	ムーバスの運行、利用実態調査等を行った。 ●ムーバス利用実績 年間乗客数/1日平均乗客数 令和3年度 1,843,619人/5,051.0人 令和2年度 1,734,842人/4,753.0人 令和元年度 2,670,388人/7,296.1人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等 ・令和3年2月1日～令和4年1月31日：特別ダイヤによる全日運行 ●ムーパーク利用実績 収容台数：38台 利用台数：20,477台 1日平均：56.1台(土日祝1日平均：66.4台)

基本施策4 安全で快適な道路ネットワークの構築

18	都市計画道路の調査・検討 《土木費○一般管理経費》 [まちづくり推進課]	予算 決算	4,010 3,003	都市計画道路3・4・27号線について、新たな都市計画マスタープランで示されたまちづくりの方針等を整理するとともに、交通量調査で把握した交通実態等を踏まえ、計画道路の方向性を検討した。
----	--------------------------------------------	----------	----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

19	区画道路整備事業 《土木費○区画道路整備事業》 [交通企画課]	予算 決算	70,416 66,418	区画道路整備事業の買収予定地における境界確定や分筆登記資料の作成を行った。また、市道第79号線道路整備工事（施工延長144.7m）を実施した。
20	都市計画道路（天文台通り）の整備促進 《土木費○都市計画道路3・4・2号線事業》 [交通企画課、用地課]	予算 決算	400,000 98,962	第三次みちづくり・まちづくりパートナー事業として東京都から受託し、用地取得に向け、土地の調査や測量、分筆登記資料の作成を行った。令和3年度は約118㎡の用地を取得、地権者の再建に合わせて仮整備工事を実施した。
21	狭あい道路拡幅整備事業 《土木費○狭あい道路拡幅整備事業》 [道路管理課]	予算 決算	83,598 86,073	安全で快適なまちづくりを推進するため、狭あい道路の拡幅整備を行った。 ・整備延長：約1,595m、整備面積：約338㎡ ・狭あい整備率：約35.6%（令和4年4月1日現在）

基本施策6 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり

22	三鷹駅北口交通環境基本方針の地域展開 《土木費○一般管理経費》 [まちづくり推進課]	予算 決算	2,856 2,563	三鷹駅北口の交通環境基本方針の策定に向けた基本的な考え方について、交通事業者や地元商店会などへ説明を行うとともに、令和4年度に行う研究会の立ち上げに向け、準備会を実施した。
23	都市計画道路3・3・14号線南口駅前広場事業 《土木費○都市計画道路3・3・14号線南口駅前広場事業》 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 決算	62,000 0	道幅が狭く、バスと歩行者の接触の危険があるパークロードからバスの通行をなくし、歩行者優先の安全な道路を形成するため、吉祥寺駅南口の約1,900㎡の交通広場整備を目指し、関係部署と連携して用地折衝を継続的に進めた。
24	吉祥寺ウエストエリアの交通環境改善調査 《土木費○吉祥寺方式物流対策事業》 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算 決算	1,254 1,254	令和3年9月に策定されたNEXT吉祥寺2021にて位置付けたウォークアブルなまちづくりの推進に向け、ウエストエリアの交通環境改善に関する事前調査及び令和4年度以降の本調査に向けた検討を行った。
25	吉祥寺駅南口周辺交通体系検討 《土木費○吉祥寺駅周辺整備計画》 [吉祥寺まちづくり事務所、交通企画課、まちづくり推進課]	予算 決算	2,000 1,936	吉祥寺駅南口を中心とした自動車や歩行者などの交通輻輳の解決のために、南口駅前広場整備後の交通課題の整理と交通環境改善に向けた検討を行った。

(6) 行財政

基本施策1 市民参加と連携・協働の推進

1	行政評価制度の検討 《総務費○企画調整》 [企画調整課]	予算 決算	3,000 2,981	自治基本条例に基づく市政運営の一環として、目的を歳出削減に限定せず、説明責任や成果・効率の向上など、行政活動の質をより高めることを主眼に置いた制度を構築するため、施策評価に評価指標を設定する「武蔵野市行政評価制度（案）」をまとめた。
2	住民投票条例（仮称）の制定に向けた検討 《総務費○企画調整》 [企画調整課]	予算 決算	304 31	武蔵野市自治基本条例に基づく住民投票制度を施行するため、具体的要件を定めた住民投票条例案を検討した。令和3年第4回市議会定例会に上程したが否決された。

基本施策2 効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション

3	インターネットによる議会中継（録画による配信等） 《議会費○議会運営》 [議会事務局]	予算 決算	7,856 7,716	広く市民に議会審議及び審査の様態を伝えるため、インターネット中継を行った。従来より中継を行ってきた本会議、予算・決算特別委員会に加え、令和2年度に開始した常任委員会及び外環道路特別委員会についても継続して行った。 ・生中継アクセス数（49,952件）・録画中継アクセス数（13,164件）
---	---------------------------------------------------	----------	----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4	議会だより発行 《議会費○議会だより発行》 [議会事務局]	予算 決算	5,574 4,819	市議会に関する情報を広く市民に伝え、市民の議会に関する関心を高めるため、議会だよりを年4回発行（4色刷、延24頁・354,000部、延344,465部全戸配布）した。
5	公式ホームページ管理システムの更改 《総務費○広報活動》 [秘書広報課]	予算 決算	8,517 5,260	令和4年度のホームページ更改にあたり、現状分析や課題整理に関して専門事業者の支援を受けたうえで調達仕様書を整え、システム構築事業者をプロポーザル方式により選定した。構築事業者との契約締結を経て、一部構築作業に着手した。
6	市民と市長のふれあいトーク 《総務費○広聴活動》 [市民活動推進課]	予算 決算	617 74	市民との対話を通じて、地域の課題など、様々な意見や提案を聴き、今後の市政運営に活かすため「市民と市長のふれあいトーク」を開催した。 テーマ別では、市内で活動している団体や個人と特定のテーマについて意見交換を行い、地域別においてはコミュニティ協議会と共催し、当該地域における地域課題等、参加者との対話を通じ市民ニーズの把握等を行った。 令和3年度は4回（テーマ別2回・地域別2回）開催

基本施策3 公共施設等の再構築と市有地の有効活用

7	公共施設等総合管理計画の推進 《総務費○資産活用事業》 [資産活用課]	予算 決算	31,558 18,216	分野横断的検討プロジェクトなどを実施して延命化に向けた具体的な更新時期の設定や更新費用の算出を行い、武蔵野市公共施設等総合管理計画を改定した。
8	公共施設劣化保全整備 《各款共通○公共施設劣化保全整備》 [施設課]	予算 決算	1,448,868 1,300,014	小中学校、コミュニティセンター、市庁舎及び総合体育館などについて、劣化調査の結果に基づき設計や工事を実施し、施設の機能維持及び長寿命化を図った。
9	公共施設改良保全整備 《各款共通○公共施設改良保全整備》 [施設課]	予算 決算	365,652 332,962	社会的ニーズに対応するための改良保全として、市庁舎及び中央図書館の特定天井改修工事を実施し、特定天井の耐震化を図った。

基本施策4 社会の変化に対応していく行財政運営

10	指定管理者制度の効果的な運用の検討 《総務費○企画調整》 [企画調整課]	予算 決算	2,354 2,354	令和7年度からの次期指定管理者制度に関する基本方針や選定手続きについて他自治体の状況も参考に検討した。
11	機密文書の適正保管事業 《総務費○文書管理》 [総務課]	予算 決算	8,309 8,305	特定個人情報を扱う事務の増加に伴う文書量の増加を受けて、地下2階の書庫に鍵付きキャビネット16台を増設した。収納場所の増により、機密文書の保管における安全性を引き続き確保し、適正な文書管理につながった。
12	仮想化基盤更改計画・住民情報システム更改計画策定 《総務費○住民情報系システム》 [情報管理課]	予算 決算	17,369 15,361	仮想化基盤及び住民情報システムの更改については、国が進めている「自治体情報システムの標準化・共通化」に関して未公表の情報があったため計画策定は行わず、クラウド利用などについて検討を進め、報告書として取りまとめた。
13	RPAの試行導入の拡大 《総務費○住民情報系システム、○内部統合情報システム》 [情報管理課]	予算 決算	9,468 8,106	単純・反復業務等の一部を自動化するRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を7部署27業務にて活用した。一部の部署では紙帳票を電子化するAI-OCRと併せて活用し、処理速度と正確性の向上等の成果があった。
14	グループウェアシステム更改 《総務費○内部統合情報システム》 [情報管理課、総務課]	予算 決算	32,091 16,752	新たなグループウェアシステムへ更改し、ビジネスチャットなど新機能の活用を開始した。業務生産性向上や職員間のコミュニケーションの活性化につながった。

基本施策5 多様な人材の確保・育成と組織の活性化

15	障害者の会計年度任用職員任用 《総務費○職員管理・給与事務》 [人事課]	予算 11,208 決算 7,047	障害者の就労支援、雇用促進のため、障害のある会計年度任用職員（3人）を任用した。また、障害や障害者就労に対する職員理解の推進を図るため、障害者の庁内実習及び障害者就労の理解向上研修を実施した。
----	------------------------------------------------	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

Ⅱ 令和3年度基金の運用状況を示す書類

地方自治法第241条第5項の規定に基づき、令和3年度の基金の運用状況を報告します。

武蔵野市長 松下玲子

1 令和3年度国民健康保険高額療養費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
3,000,000	0	0	3,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		3,000,000		0	3,000,000
4	0	3,000,000	0	0	3,000,000
5	0	3,000,000	0	0	3,000,000
6	0	3,000,000	0	0	3,000,000
7	0	3,000,000	0	0	3,000,000
8	0	3,000,000	0	0	3,000,000
9	0	3,000,000	54,000	54,000	2,946,000
10	54,000	3,054,000	0	54,000	3,000,000
11	0	3,054,000	0	54,000	3,000,000
12	0	3,054,000	0	54,000	3,000,000
1	0	3,054,000	0	54,000	3,000,000
2	0	3,054,000	0	54,000	3,000,000
3	0	3,054,000	0	54,000	3,000,000
計	54,000		54,000		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	14
下半期預金利子	14
計	28

(注) 上記の利子収入は、一般会計(16財産収入、1財産運用収入、2利子及び配当金、1利子及び配当金、14市民生活総合基金利子収入)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	3,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	3,000,000

2 令和3年度国民健康保険出産費資金貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
3,000,000	0	0	3,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		3,000,000		0	3,000,000
4	0	3,000,000	0	0	3,000,000
5	0	3,000,000	0	0	3,000,000
6	0	3,000,000	0	0	3,000,000
7	0	3,000,000	0	0	3,000,000
8	0	3,000,000	0	0	3,000,000
9	0	3,000,000	0	0	3,000,000
10	0	3,000,000	0	0	3,000,000
11	0	3,000,000	0	0	3,000,000
12	0	3,000,000	0	0	3,000,000
1	0	3,000,000	0	0	3,000,000
2	0	3,000,000	0	0	3,000,000
3	0	3,000,000	0	0	3,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	14
下半期預金利子	14
計	28

(注) 上記の利子収入は、一般会計(16財産収入、1財産運用収入、2利子及び配当金、1利子及び配当金、14市民生活総合基金利子収入)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	3,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	3,000,000

3 令和3年度高額介護等サービス費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
3,000,000	0	0	3,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		3,000,000		0	3,000,000
4	0	3,000,000	0	0	3,000,000
5	0	3,000,000	0	0	3,000,000
6	0	3,000,000	0	0	3,000,000
7	0	3,000,000	0	0	3,000,000
8	0	3,000,000	0	0	3,000,000
9	0	3,000,000	0	0	3,000,000
10	0	3,000,000	0	0	3,000,000
11	0	3,000,000	0	0	3,000,000
12	0	3,000,000	0	0	3,000,000
1	0	3,000,000	0	0	3,000,000
2	0	3,000,000	0	0	3,000,000
3	0	3,000,000	0	0	3,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	14
下半期預金利子	14
計	28

(注) 上記の利子収入は、一般会計(16財産収入、1財産運用収入、2利子及び配当金、1利子及び配当金、14市民生活総合基金利子収入)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	3,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	3,000,000

(参考資料)

令和3年度決算における新型コロナウイルス感染症の影響額について（総括表）

■影響額（歳出）

（千円）

款		影響額						合計
		1.新規	2.拡充	3.継続	4.縮小	5.中止・延期	6.代替	
一般 会計	1. 議会費					△ 5,895		△ 5,895
	2. 総務費	17,932		27,942	△ 70,950	△ 35,805	2,566	△ 58,315
	3. 民生費	2,766,897	141	161,213	△ 40,109	△ 8,523	18,823	2,898,442
	4. 衛生費	1,767,074	617	10,757	△ 26,599	△ 6,092		1,745,757
	6. 農業費					△ 2,403		△ 2,403
	7. 商工費	145,831	58,748	939,512	△ 11,848	△ 5,438	4	1,126,809
	8. 土木費	3,146			△ 3,087	△ 380		△ 321
	9. 消防費				△ 2,091	△ 3,137		△ 5,228
	10. 教育費	1,431		35,093	△ 328,101	△ 15,878	4,815	△ 302,640
	合計		4,702,311	59,506	1,174,517	△ 482,785	△ 83,551	26,208
特別 会計	国民健康保険事業会計			1,029				1,029
	介護保険事業会計			198		△ 2,751	515	△ 2,038
公営 企業 会計	水道事業会計							0
	下水道事業会計							0
総合計		4,702,311	59,506	1,175,744	△ 482,785	△ 86,302	26,723	5,395,197

1.新規 … 新たに実施した項目

2.拡充 … 拡充した項目(令和3年度)

3.継続 … 昨年度に引き続き実施した項目

4.縮小 … 事業を縮小した項目

5.中止・延期 … 事業を中止又は延期した項目

6.代替 … 中止・延期した事業の代わりに実施した項目

■影響額（歳入）

（千円）

款		影響額		
		歳入増	歳入減	合計
一般 会計	1. 市税		△ 1,370,456	△ 1,370,456
	12. 分担金及び負担金		△ 6,572	△ 6,572
	13. 使用料及び手数料		△ 45,526	△ 45,526
	14. 国庫支出金	5,783,380	△ 18,011	5,765,369
	15. 都支出金	160,082	△ 23,338	136,744
	18. 繰入金	500,000		500,000
	20. 諸収入		△ 2,583	△ 2,583
合計		6,443,462	△ 1,466,486	4,976,976
特別 会計	国民健康保険事業会計	18,072	△ 26,269	△ 8,197
	後期高齢者医療会計		△ 872	△ 872
	介護保険事業会計		△ 1,007	△ 1,007
公営 企業 会計	水道事業会計		△ 267	△ 267
	下水道事業会計		△ 110	△ 110
総合計		6,461,534	△ 1,495,011	4,966,523

※影響額の調査対象は一般会計、特別会計及び公営企業会計。

※影響額の詳細については歳出／歳入の内訳のとおり。

※影響額の減額は特に明記が無い限り当初予算との比較

※軽微な影響などにより、掲載できていない内容もあります。

令和3年度決算における新型コロナウイルス感染症の影響額について（歳出の内訳）

■歳出（議会費）

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	1	1	1	議会事務局	○議会運営	5.中止・延期	コロナ禍による緊急事態宣言等の発出を鑑み、市外への行政視察等を中止した。	△ 5,895

■歳出（総務費）

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	2	1	1	秘書広報課(秘書担当)	○一般管理経費	4.縮小	各種イベントの中止等に伴う市長交際費の減額。	△ 860
一般	2	1	1	秘書広報課(秘書担当)	○一般管理経費	5.中止・延期	栄典関係(春の叙勲、東京都功労者表彰)の都伝達式及び行政関係団体連絡協議会懇親会の中止に伴う食糧費の減額。	△ 149
一般	2	1	1	人事課	○職員管理・給与事務	4.縮小	管内出張及び管外出張の減少に伴う旅費の減額。 ※影響額には新型コロナウイルス感染症の影響以外のものも含む。	△ 5,915
一般	2	1	1	人事課	○職員の福利厚生	4.縮小	武蔵野市職員共済会における一部事業の中止や職員からの補助申請の減少のため	△ 4,783
一般	2	1	1	人事課	○職員の安全衛生管理	3.継続	職員用コロナ対策用品を購入した。	455
一般	2	1	1	人事課	○職員の安全衛生管理	3.継続	新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た場合の消毒作業を実施した。	801
一般	2	1	1	人事課	○職員の研修	4.縮小	各種研修の規模を縮小したことによる謝礼金や研修旅費、消耗品及び負担金等の減額。	△ 4,315
一般	2	1	1	人事課	○職員の研修	5.中止・延期	各種研修を延期、中止したことによる謝礼金や研修旅費、消耗品及び負担金等の減額。	△ 1,070
一般	2	1	1	人事課	○職員の能力開発	4.縮小	自主グループ主催の研修等が縮小したことによる減額。	△ 100
一般	2	1	3	市民活動推進課	○平和・憲法啓発事業	4.縮小	青少年平和交流派遣事業のうち長崎市への派遣を中止したことによる減額。学習会を実施するとともに、青少年ピースフォーラムへオンラインで参加した。	△ 1,982
一般	2	1	6	管財課	○庁舎の維持管理	4.縮小	庁舎防災訓練について、参加者等に対する感染拡大防止のため規模を縮小(自衛消防隊による初期消火訓練を実施)したことによる減額。	△ 44

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	2	1	8	企画調整課	○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等関連事業	4.縮小	Sports for Allイベントの一部中止、聖火リレーセレブレーションのイベント縮小・無観客化等に伴う減額。	△ 31,374
一般	2	1	9	多文化共生・交流課	○アメリカ・ラポック市との相互交流事業	5.中止・延期	米国テキサス州ラポック市からの中学生受入れを中止したことによる減額。代替としてインスタグラムによる交流を図った(予算執行はなし)。	△ 3,775
一般	2	1	9	多文化共生・交流課	○韓国との相互交流事業	5.中止・延期	大韓民国ソウル特別市江東区からの中学生の受入れ及び同区スポーツ交流団の受入れを中止したことによる減額。	△ 2,361
一般	2	1	9	多文化共生・交流課	○韓国との相互交流事業	6.代替	中止した交流事業の代替として、本市の中高生と江東区の中高生による5日間のオンライン交流を実施した。	101
一般	2	1	9	多文化共生・交流課	○友好都市交流事業	4.縮小	国内友好都市への交流ツアーの中止及び友好都市宿泊施設利用助成の対象期間縮小に伴う減額。	△ 2,931
一般	2	1	9	多文化共生・交流課	○ホストタウン事業の推進	4.縮小	東京2020大会が無観客での開催となったことによる観戦ツアーの中止、ルーマニア選手団との交流をオンライン実施に縮小したこと等による減額。	△ 4,805
一般	2	1	11	市政センター	○市政センターの維持運営	3.継続	昨年に引き続き、感染拡大防止のための消耗品(ハンドソープ、除菌ウェットティッシュ、加湿機等)を購入した。	135
一般	2	1	14	安全対策課	○生活安全対策事業	4.縮小	市民安全パトロール隊研修について、バスを用いての実地研修から市庁舎での講義・演習に変更して実施したことによる減額。	△ 152
一般	2	1	14	安全対策課	○生活安全対策事業	5.中止・延期	市民安全大会や特殊詐欺被害防止講演会を中止したことに伴う減額。	△ 42
一般	2	1	14	安全対策課	○危機管理対策事業	1.新規	自宅療養者等に対する食料品・日用品等の支援を実施した。	17,932
一般	2	1	14	安全対策課	○危機管理対策事業	3.継続	武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部の本部員のうち消防団長に対する報酬を支給した。	180
一般	2	1	14	安全対策課	○危機管理対策事業	3.継続	手指消毒液等を庁内窓口用に配布するとともに、今後の感染拡大に備えて新たに備蓄を行った。	1,208
一般	2	1	14	安全対策課	○危機管理対策事業	3.継続	市民や来街者に対する感染拡大防止の注意喚起のため、鉄道3駅周辺や商店街等に横断幕を設置するとともに、吉祥寺駅周辺の商店街にて、外出自粛や感染防止を呼びかける放送を実施した。	761

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	2	1	14	安全対策課	○危機管理対策事業	5.中止・延期	不発弾処理対策及び感染症対策に関する危機管理訓練を中止したことに伴う減額。	△ 250
一般	2	1	15	子ども育成課	○私立幼稚園等助成事業	3.継続	私立幼稚園に対して、子どもを安心して育てることができる環境を整備することを目的として補助金を交付した。	4,396
一般	2	1	16	児童青少年課	○市立自然の村の管理運営	4.縮小	閉村期間があったこと、自然の村利用促進バス運行など一部事業の中止、天体事業の縮小実施による管理運営委託料の減額。	△ 2,140
一般	2	1	16	児童青少年課	○むさしのジャンボリー事業	5.中止・延期	むさしのジャンボリー全地区中止に伴う事業費の減額。	△ 22,702
一般	2	1	16	児童青少年課	○むさしのジャンボリー事業	6.代替	二俣尾・武蔵野市民の森「自然体験館」などを使用して、一部地区で代替事業を実施した。	2,465
一般	2	1	16	児童青少年課	○青少年問題協議会・地区活動事業	4.縮小	地区委員会バス研修の規模縮小に伴う減額。	△ 1,005
一般	2	1	16	児童青少年課	○青少年問題協議会・地区活動事業	4.縮小	美化運動について、事業を実施できなかった地区があることによる廃棄物運搬処理委託料の減額。	△ 435
一般	2	1	16	児童青少年課	○青少年活動育成事業	4.縮小	非行のない明るい街づくり武蔵野連絡協議会の活動が減少したことによる補助金の減額。	△ 117
一般	2	1	16	児童青少年課	○青少年活動育成事業	4.縮小	青少年団体が一部の事業を実施できなかったことによるバス借上料補助金等の減額。	△ 3,887
一般	2	1	16	児童青少年課	○青少年活動育成事業	4.縮小	中学生・高校生リーダー養成講座の一部事業を中止・変更して実施したことによる減額。	△ 759
一般	2	1	16	児童青少年課	○青少年活動育成事業	5.中止・延期	親子稲作体験事業、遠野市家族ふれあい自然体験事業、二俣尾自然体験事業等の中止に伴う減額	△ 3,024
一般	2	3	1	市民課	○戸籍住民基本台帳事務	5.中止・延期	コロナ禍の半導体不足により機器調達に遅れが生じ、入替予定であった機器を再リースに変更したこと等による減額	△ 1,741
一般	2	4	2	選挙管理委員会事務局	○明るい選挙常時啓発事業	5.中止・延期	東京都市明るい選挙推進協議会主催の総会・研修会や市明るい選挙推進協議会が予定していた管内研修が中止となったことによる減額。	△ 349

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	2	5	2	総務課	○統計調査員確保対策事業	5.中止・延期	統計調査員研修の中止に伴う減額。	△ 342
一般	2	5	2	総務課	○建設工事統計調査	4.縮小	調査員調査を実施せず、郵送による調査とした。	△ 32
一般	2	5	2	総務課	○経済センサス	4.縮小	調査員調査の方法を変更したことに伴う調査員報酬の減額。	△ 5,314
一般	2	6	3	市民活動推進課	○市民文化会館の管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	10,052
一般	2	6	3	市民活動推進課	○芸能劇場の管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	2,547
一般	2	6	3	市民活動推進課	○公会堂の管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	1,410
一般	2	6	3	市民活動推進課	○スイングホールの管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	1,257
一般	2	6	3	市民活動推進課	○吉祥寺美術館の管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	349
一般	2	6	3	市民活動推進課	○吉祥寺シアターの管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	4,343
一般	2	6	3	市民活動推進課	○かたらいの道 市民スペースの管理運営	3.継続	施設使用料の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)に伴う還付金の増額。	48

■歳出(民生費)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	3	1	1	地域支援課	○一般管理経費	4.縮小	保護司会及び武蔵野赤十字奉仕団の活動が大幅に縮小したことによる減額。	△ 2,002
一般	3	1	1	地域支援課	○一般管理経費	5.中止・延期	保護司会及び武蔵野赤十字奉仕団管外研修の中止に伴う減額。	△ 72

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	3	1	1	地域支援課	○民生・児童委員(社会福祉協力員)事業	4.縮小	民生児童委員管外研修が中止となったことによる減額。	△ 3,617
一般	3	1	1	地域支援課	○住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対し1世帯あたり10万円の給付金支給事業を実施した。	1,254,379
一般	3	1	2	障害者福祉課	○一般管理経費	2.拡充	新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に関する情報等を提供するため、広報誌「つながり・こころのつながり」の臨時号を発行した。	141
一般	3	1	2	障害者福祉課	○一般管理経費	3.継続	障害者サービスを実施する事業所に対して、PCR検査等費用を助成した。	3,973
一般	3	1	2	障害者福祉課	○みどりのこども館管理運営事業	4.縮小	みどりのこども館 おもちやのぐるりん(地域開放型事業)の一部イベント等について開催を見合わせたことによる減額。	△ 732
一般	3	1	2	障害者福祉課	○シヨートステイ事業	4.縮小	障害者(児)シヨートステイ事業について、在宅障害者(児)の緊急一時入所、体験入所等及びレスパイト介護者等の休養短入所(シヨートステイ)の受入数を縮小したことによる減額。	△ 3,424
一般	3	1	2	障害者福祉課	○精神障害者援護事業	3.継続	外出自粛等によりメンタルヘルスの問題を抱える市民の増加が見込まれることから電話相談の回数を増加する対応を継続した。	1,000
一般	3	1	3	高齢者支援課	○敬老記念事業	5.中止・延期	敬老福祉の集いの中止に伴う減額。	△ 5,898
一般	3	1	3	高齢者支援課	○敬老記念事業	6.代替	友愛訪問を中止し、敬老祝品の郵送を実施した。	18,127
一般	3	1	3	高齢者支援課	○老人クラブ関係事業	4.縮小	シルバースポーツ大会、芸術文化祭(芸能の部)、高齢者タブレット教室、シルバーシティブラン推進事業の一部を中止したことによる減額。	△ 1,727
一般	3	1	3	高齢者支援課	○老人クラブ関係事業	4.縮小	各単位老人クラブが事業の一部を中止又は延期したことによる減額。	△ 9,029
一般	3	1	3	高齢者支援課	○社会参加促進事業	3.継続	令和2年度に引き続き、いきいきサロンに対して感染症対策費補助金を支給した。	1,790
一般	3	1	3	高齢者支援課	○社会参加促進事業	4.縮小	各いきいきサロンが活動を休止、プログラムの一部を中止したことによる減額。	△ 2,274

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	3	1	3	高齢者支援課	○社会参加促進事業	5.中止・延期	シルバースポーツ大会の中止に伴う減額。	△ 1,062
一般	3	1	3	高齢者支援課	○移送サービス事業	3.継続	令和2年度に引き続き、レモンキャブの運行協力員を対象とする感染症に備えた保険に加入するとともに、感染症対策用品を購入して車内に配備した。	5,524
一般	3	1	3	高齢者支援課	○テンミリオンハウス事業	1.新規	テンミリオンハウスに対して感染症対策費補助金を支給した。	800
一般	3	1	3	高齢者支援課	○テンミリオンハウス事業	4.縮小	各テンミリオンハウスが開館時間を短縮、利用定員を制限、事業の一部を中止したことによる減額。	△ 7,019
一般	3	1	3	高齢者支援課	○高齢者日常生活支援事業	3.継続	介護者が新型コロナウイルス感染症に感染したことにより介護者不在となる場合、また高齢者本人が感染し自宅療養となった場合にも対応できるようレスキューヘルパー事業を継続して実施した。	622
一般	3	1	3	高齢者支援課	○認知症高齢者支援事業	4.縮小	認知症相談事業について、認知症を知る月間の認知症相談会は中止した。また、認知症サポーターアップ講座は回数を減らして実施した。施設介護サポーター事業は養成研修は実施せず、受入事業は屋外での作業のみ実施した。	△ 2,933
一般	3	1	3	高齢者支援課	○高齢者総合センター管理運営事業	4.縮小	社会活動センターは受講募集人数を減らしたこと、デイサービスは利用自粛等により利用者数が減少したことによる減額。	△ 2,318
一般	3	1	3	高齢者支援課	○北町高齢者センター管理運営事業	3.継続	令和2年度に引き続き、地域子育て支援拠点実施施設に対し、感染拡大防止に必要な経費に充てるための費用を補助した。	300
一般	3	1	3	高齢者支援課	○介護保険事業	4.縮小	ケアリンクピック武蔵野2021をWEB配信で開催したことによる減額。	△ 1,032
一般	3	1	3	住宅対策課	○福祉型民間アパルト借上事業	5.中止・延期	LSA派遣業務等のうち、集会所及び清岳苑アクティビティ業務を中止したことによる減額。	△ 896
一般	3	2	1	子ども育成課	○認可外保育施設助成事業	3.継続	市内認証保育所等に対して、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費に係る補助金を支給した。	8,444
一般	3	2	1	子ども育成課	○認可外保育施設助成事業	3.継続	市の要請や同意を受けて臨時休園した場合、または児童が登園自粛した日数に応じて、保育料を軽減した認証保育所に対して補助金を交付した。	4,609
一般	3	2	1	子ども育成課	○認可外保育施設助成事業	3.継続	保育所等の臨時休園等に伴うベビーシッター利用支援事業(都事業)の利用者について、ベビーシッターが利用者宅まで通うための交通費について補助を行った。	21

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子ども・子育て支援事業	1.新規	市民協の委託事業において行う子ども・コミュニティ食堂への運営費助成について、東京都による取組み加算の追加に伴い、配食・宅配実施に対しても助成した。 ※子どもの支援に係る地域連携強化事業委託(東京都子供食堂推進事業)	9,774
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子ども・子育て支援事業	3.継続	小学校の臨時休業等により子育て支援事業を利用した場合に利用料相当額を助成した。 ※新型コロナウイルス感染症対策臨時休業時利用補助金	194
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子ども・子育て支援事業	4.縮小	ペーパーカー貸出しサービスについて、一部窓口での貸出しを中止するなど、事業内容を一部縮小して実施した。	△ 3,979
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子ども・子育て支援事業	5.中止・延期	子育てフェスティバルについて、現地での開催を中止した。	△ 315
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子ども・子育て支援事業	6.代替	子育てフェスティバルについて、現地開催の代替として、ゆりがご・むさしのフェスティバルと合同で、特設サイト構築し、オンライン形式で実施した。	586
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○0123施設の管理運営	3.継続	令和2年度に引き続き、地域子育て支援拠点実施施設に対し、感染拡大防止に必要な経費に充てるための費用を補助した。	△ 6,318
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○すくすく施設事業	3.継続	令和2年度に引き続き、地域子育て支援拠点実施施設に対し、感染拡大防止に必要な経費に充てるための費用を補助した。	△ 489
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○民間子育て支援施設事業	3.継続	令和2年度に引き続き、地域子育て支援拠点実施施設に対し、感染拡大防止に必要な経費に充てるための費用を補助した。	△ 3,854
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子育て世帯等生活支援特別給付金事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、18歳までの児童(障害児の場合は20歳未満)を養育する低所得のひとり親世帯(児童扶養手当受給者等)及びひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯(市民税均等割が非課税等)に対し、対象児童一人あたり95万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。	98,617
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子ども子育て支援特別給付金事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度に実施した国の特別定額給付金事業及び都の出産応援事業のいずれにも対象とならなかった児童を養育する世帯に対し、対象児童一人あたり10万円の子ども子育て支援特別給付金を市独自で支給した。	77,031
一般	3	2	1	子ども子育て支援課	○子育て世帯等臨時特別支援事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、所得が児童手当(本則給付)相当の18歳までの児童を養育する子育て世帯に対し、対象児童一人あたり10万円の子育て世帯への臨時特別給付金を支給した。	1,270,008
一般	3	2	2	子ども育成課	○保育所等運営委託・給付事業	3.継続	市内認可保育施設に対して、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費に係る補助金を支給した。	19,619
一般	3	2	4	子ども育成課	○市立保育園運営事業	3.継続	市立保育園に対して、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な消耗品を購入した。	2,396

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	3	2	6	児童青少年課	○児童館の管理運営	4.縮小	乳幼児対象事業のうち、業務委託により実施している「ちびっこランドニャン・3・シー」及び「おはなひろば」を各1回ずつ縮小した。	△ 23
一般	3	2	6	児童青少年課	○児童館の管理運営	5.中止・延期	来館者対象事業である「ワーイー！こどもの日」、「じどうかんまつり」、「夏期行事」を中止したことによる減額。	△ 280
一般	3	2	6	児童青少年課	○児童館の管理運営	6.代替	来館者対象事業である「ワーイー！こどもの日」を中止したが、5月5日(祝)は開館し、特別なあそびや工作を行った。また、「じどうかんまつり」の代替事業として、来館者を対象に「ゲームの日」を実施した。	110
一般	3	3	1	生活福祉課	○生活困窮者自立支援事業	3.継続	市立相談支援機関の強化体制を継続するとともに、新型コロナウイルス感染症などによる生活困窮者への自立相談の支援策として、生活困窮者住居契約更新料給付金、生活困窮者特別就職支援金の支給を行った。	123,382
一般	3	3	1	生活福祉課	○生活困窮者自立支援金支給事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、特別貸付を利用できない世帯に対し、就労による自立を図るため、またそれが困難な場合に円滑に生活保護の受給へつなげるため、令和3年7月から新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給を開始し、公共職業安定所の求職申込等を通じて常用就職を目指す活動を支援した。	56,288

■歳出(衛生費)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	4	1	1	健康課	○一般管理経費	3.継続	武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を開催した。	152
一般	4	1	1	健康課	○母子保健事業	3.継続	乳幼児健康診査(3~4か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査)の回数増(1回当たりの呼び出し人数の縮小のため)	1,081
一般	4	1	1	健康課	○母子保健事業	4.縮小	ゆりかごむさしのフェスティバルを、子ども子育て支援課と合同で、子育て・ゆりかごフェスティバルとしてオンラインで開催した。	△ 1,037
一般	4	1	1	健康課	○母子保健事業	4.縮小	このより学級の平日クラスを中止し、同級の内容の動画コンテンツを作成して土曜日クラス申込者に事前視聴動画として配信した。	△ 733
一般	4	1	1	健康課	○休日診療	2.拡充	休日診療について、年末年始における医療体制を拡充した。	617
一般	4	1	2	健康課	○新型コロナウイルスワクチン接種事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るためにワクチンの接種を行った。	1,764,795
一般	4	1	2	健康課	○感染症予防対策事業	1.新規	自宅療養者医療支援体制の整備(バルスオキシジェンター、酸素濃縮器等)	2,279
一般	4	1	2	健康課	○感染症予防対策事業	3.継続	感染症予防対策衛生用品の整備(医療機関等)	9,524

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	4	1	2	健康課	○歯科衛生事業	5.中止・延期	よい歯のつどい、無料の口腔健康診査を中止したことによる減額。	△ 2,844
一般	4	1	3	下水道課	○水環境等対策推進事業	4.縮小	臭気抑制対策助成金について、地域活動等が自粛されたことに伴う減額。	△ 1,500
一般	4	1	3	下水道課	○水環境等対策推進事業	4.縮小	雨水浸透施設助成金について、戸別訪問PR活動を自粛したことに伴う減額。	△ 18,184
一般	4	1	3	環境政策課	○環境啓発施設事業	4.縮小	フクチン接種会場開設等による各種施設周知イベント、体験事業ものづくり工房ワークショップ等の縮小、並びに環境の学校フィールドワーク及び小学生施設見学バス借上げを中止したこと等による減額	△ 3,920
一般	4	1	3	環境政策課	○害虫等駆除対策事業	5.中止・延期	ねずみ侵入防止対策講習会の中止に伴う減額。	△ 20
一般	4	2	1	ごみ総合対策課	○一般管理経費	5.中止・延期	三多摩は一つなり交流事業・容り法中間処理施設ペール品質調査を中止したことによる減額。	△ 876
一般	4	2	2	ごみ総合対策課	○ごみ減量と資源化推進事業	4.縮小	クリーンむさしのを推進する会補助金について、活動の縮小による補助金の減額。	△ 500
一般	4	2	2	ごみ総合対策課	○ごみ減量と資源化推進事業	4.縮小	むさしの青空市中等に伴い、クリーンむさしのを推進する会への委託事業を縮小したことによる減額。	△ 283
一般	4	2	2	ごみ総合対策課	○ごみ減量と資源化推進事業	5.中止・延期	ごみゼロデー及びびー斉清掃の中止に伴う減額。	△ 730
一般	4	2	2	ごみ総合対策課	○ごみ減量と資源化推進事業	5.中止・延期	3R環境講座及び夏休みごみ探検隊を中止したことによる減額。	△ 960
一般	4	2	4	ごみ総合対策課	○一般管理経費	4.縮小	環境健康診断の検査項目の一部実施を取り止めたことによる減額。	△ 442
一般	4	2	4	ごみ総合対策課	○一般管理経費	5.中止・延期	武蔵野クリーンセンター運営協議会で実施している委員研修及びバス研修を中止したことによる減額。	△ 662

■歳出（農業費）

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	6	1	1	産業振興課	○農業委員会の運営	5.中止・延期	農産物品評会の中止に伴う減額。	△ 14
一般	6	1	1	産業振興課	○農業委員会の運営	5.中止・延期	農業会議会長視察研修の中止に伴う減額。(リモート会議で実施)	△ 102
一般	6	1	1	産業振興課	○農業委員会の運営	5.中止・延期	北多摩地区農業委員会会長研修の中止に伴う減額。	△ 45
一般	6	1	3	産業振興課	○農業振興事業	5.中止・延期	農産物品評会・うど品評会の中止に伴う減額。	△ 1,546
一般	6	1	3	産業振興課	○農業振興事業	5.中止・延期	農業関係団体による事業の中止及び縮小に伴う補助金等の減額。	△ 546
一般	6	1	3	産業振興課	○農業振興事業	5.中止・延期	農交活活性化支援事業の中止に伴う減額。	△ 150

■歳出（商工費）

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	7	1	2	産業振興課	○商工振興事業	2.拡充	商店街チャレンジ戦略支援事業補助金について、R3より新たに新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため「商店街地域力向上事業」が拡充し、19商店会が申請したことによる増額。	8,138
一般	7	1	2	産業振興課	○商工振興事業	4.縮小	チャレンジ戦略支援事業費補助金について、当初予定していたイベント17事業のうち、4事業を中止し、1事業を縮小して実施した。	△ 8,642
一般	7	1	2	産業振興課	○商工振興事業	4.縮小	企画提案型商業活性化事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、申請が例年より少なかったことによる減額。	△ 3,206
一般	7	1	2	産業振興課	○商工振興事業	5.中止・延期	武蔵野市商店会連合会補助金のうちイベント助成については、新型コロナウイルス感染症の影響により申請が無かったことによる減額。	△ 400
一般	7	1	2	産業振興課	○利子補給等事業	2.拡充	令和3年度中の事業資金特別融資又は小口零細事業資金特別融資の申請について、売上減少の比較期間を「前年同期」から「1年前から3年前のいずれかの同期」とした。 ※新型コロナウイルス感染症の影響以外も含む	50,610

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	7	1	2	産業振興課	○中小企業者等追加経済対策事業	3.継続	令和2年度に実施した緊急経済対策について、その効果を検証するとともに、得られた和泉を、市の産業振興施策に引き続き活用し、コロナ禍における新たな経済対策の検討に資することを目的として調査を実施した。さらに、令和2年度に引き続き、商店会活性化出店支援事業を継続した。	85,629
一般	7	1	2	産業振興課	○くらし地域応援券事業	3.継続	緊急経済対策として、市民への生活支援と市内事業者支援を目的に、5,500円分の割引券を在住市民全員に配付するくらし地域応援券事業を実施した。	853,883
一般	7	1	2	産業振興課	○中小企業者等特別支援金事業	1.新規	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業収入等が減少している事業者に対して特別支援金を給付した。	56,882
一般	7	1	2	産業振興課	○キャッシュレス決済によるポイント還元事業	1.新規	緊急経済対策として、期間中市内対象店舗で4払いとauPAYで買い物をする最大20%のポイントを還元する事業を実施した。	88,949
一般	7	1	3	産業振興課	○消費生活センターの運営事業	5.中止・延期	悪質商法被害防止街頭キャンペーンや消費生活講座バス見学会等の中止による減額。	△ 572
一般	7	1	3	産業振興課	○消費生活センターの運営事業	6.代替	悪質商法被害防止街頭キャンペーンの中止に伴う代替事業として、消費生活講座の中で映画を上映したことによる増額。	4
一般	7	1	3	産業振興課	○青空市事業	5.中止・延期	むさしの青空市を中止にしたことによる減額。	△ 4,466

■歳出(土木費)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	8	1	2	交通企画課	○交通安全対策事業	4.縮小	自転車街頭点検整備等業務および児童自転車点検整備業務の一部を中止したことに伴う減額。	△ 286
一般	8	1	2	交通企画課	○交通安全対策事業	5.中止・延期	バス借上料について、交通安全協会や地域交通安全活動推進委員のバス研修が中止となったことによる減額。	△ 350
一般	8	1	2	交通企画課	○自転車対策事業	4.縮小	自転車安全利用講習会について、例年学校等で実施していた出張講習を実施しなかったことによる回数減に伴う減額。	△ 1,273
一般	8	3	1	まちづくり推進課	○一般管理経費	1.新規	都市計画マスタープランの改定時期を、当初予定していた令和2年度末から令和3年度に延期したことによる増額。	3,146
一般	8	5	1	緑のまち推進課	○緑化推進事業	4.縮小	森の市民講座など一部の事業を中止したことに伴う減額。	△ 582

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	8	5	1	緑のまち推進課	○緑化推進事業	4.縮小	森林整備啓発事業(二俣尾・武蔵野市民の森活用)の一部事業中止に伴う減額。	△ 312
一般	8	5	1	緑のまち推進課	○緑化推進事業	4.縮小	緑ポランテニア団体イベント縮小・中止に伴う助成金の減額。	△ 634
一般	8	5	1	緑のまち推進課	○緑化推進事業	5.中止・延期	関前公園がいほり中止に伴う緑化啓発イベント企画・運営委託費の減額。	△ 30

■歳出(消防費)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	9	1	2	防災課	○一般管理経費	5.中止・延期	消防団幹部研修・酒田市消防団春期消防演習視察、酒田市消防団出初式視察の中止に伴う減額。	△ 1,614
一般	9	1	2	防災課	○出初式等開催事業	4.縮小	消防団出初式の会場を武蔵野陸上競技場に変更し、縮小開催とした。	△ 894
一般	9	1	4	防災課	○防災訓練事業	4.縮小	水防訓練を中止し、関係機関の個別訓練としたことによる減額。	△ 590
一般	9	1	4	防災課	○防災訓練事業	4.縮小	吉祥寺駅周辺帰宅困難者対策訓練について、規模を縮小して実施したことによる減額。	△ 375
一般	9	1	4	防災課	○防災訓練事業	4.縮小	総合防災訓練を、規模を縮小して実施したことによる減額。	△ 232
一般	9	1	4	防災課	○防災訓練事業	5.中止・延期	はらっぱ防災フェスタむさしのを中止したことによる減額。	△ 1,523

■歳出(教育費)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	10	1	3	指導課	○教職員研修・研究	4.縮小	講師を招聘する研修会・研究会の減少により、報償費や補助金の執行が減ったことによる減額。	△ 4,376
一般	10	1	3	指導課	○児童生徒指導	4.縮小	部活動の中止や制限による指導時間の減、水泳指導時数の減などによる減額。	△ 29,383
一般	10	1	3	指導課	○児童生徒指導	5.中止・延期	児童・生徒によるオリンピック・パラリンピック観戦を中止したことによる減額。	△ 2,990

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内容	影響額(千円)
一般	10	1	3	指導課	○一般教育指導	5.中止・延期	友好都市(富山県南砺市利賀村)と児童の交流事業(訪問・来訪)を中止したことによる減額。	△ 1,876
一般	10	1	3	指導課	○情報教育指導	1.新規	オンライン授業の増加による教員向け学習者用コンピュータのバッテリー消耗に対応するため、充電用アダプターを追加購入した。	1,180
一般	10	1	3	指導課	○セカンドスクール	4.縮小	事業の中止・延期実施、泊数を減らしての短縮実施、実施地を変更した代替学習を行った。全30回のうち、当初予定どおり実施0回、延期実施2回、延期短縮実施17回、短縮実施1回、代替学習7回、中止3回。	△ 99,193
一般	10	1	3	指導課	○特色ある教育活動の奨励事業	4.縮小	講師招聘を行う教育活動や給食を用いた交流会の減少により、謝礼金と食糧費の執行が減ったことによる減額。	△ 2,002
一般	10	2	1	教育企画課	○校舎等施設維持管理(小学校)	3.継続	令和2年度に引き続き、感染拡大の防止及び教職員による消毒作業の負担を軽減するため、放課後の消毒業務を(公社)シルバークリスタルセンターに委託した。	15,556
一般	10	2	2	指導課	○移動教室	4.縮小	全日程を延期し、泊数を2泊から1泊に縮小して実施したことによる減額。	△ 2,014
一般	10	2	2	指導課	○一般教育振興事業(小学校)	5.中止・延期	小学校演劇鑑賞教室、ジュニアバンドジョイントコンサート、青少年コーラスジョイントコンサートを中止したことによる減額。	△ 3,168
一般	10	2	3	教育支援課	○一般管理経費(小学校)	3.継続	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、必要な物品を購入した。	6,822
一般	10	3	1	教育企画課	○校舎等施設維持管理(中学校)	3.継続	令和2年度に引き続き、感染拡大の防止及び教職員による消毒作業の負担を軽減するため、放課後の消毒業務を(公社)シルバークリスタルセンターに委託した。	10,456
一般	10	3	2	指導課	○修学旅行	6.代替	全日程を中止し、保護者が旅行会社へ支払うキャンセル料を市が負担した。	4,815
一般	10	3	2	指導課	○一般教育振興事業(中学校)	5.中止・延期	中学校連合音楽会、市内中学校陸上競技大会を中止したことによる減額。	△ 1,250
一般	10	3	3	教育支援課	○一般管理経費(中学校)	3.継続	感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、必要な物品を購入した。	1,765
一般	10	4	1	教育支援課	○特別支援教育推進	5.中止・延期	就学相談に関する説明会の中止により、託児委託を実施しなかつたため。	△ 36

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	10	4	2	教育支援課	○知的障害学級運営	5.中止・延期	オンラインブック・パラリンピック観戦を中止したことによる減額。	△ 394
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○学級・講座開催事業	5.中止・延期	親子deサイエンス(高学年)等の中止による減額および生涯学習事業費補助金の応募数減により、交付事業が2件だけとなったことによる減額。	△ 6,152
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○市民文化祭事業	4.縮小	一部イベントを中止したことによる減額。	△ 3,159
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○未来をひらくはたちのつどい	4.縮小	「未来をひらくはたちのつどい」を参加者入替制の2回開催とした上で、事業を縮小して開催したことによる減額。 ※なお、前年度会場開催中止となった対象者向けの代替事業分を含む	△ 1,675
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○文化財保護普及事業	4.縮小	むさしのばやしビデオ教室を一部中止したことによる減額。	△ 469
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○武蔵野ふるさと歴史館の管理運営	1.新規	講演会のWEB開催・歴史館大学の一部WEB開催のための配信準備を行ったための増額。	251
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○社会教育関係団体等育成援助事業	4.縮小	講師謝礼及びバス借上料補助金の申請が減少したことによる減額。	△ 5,328
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○市民芸術文化協会育成事業	4.縮小	芸術文化講座の中止、自主イベントの一部中止による減額。	△ 1,400
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○学校開放事業	4.縮小	国・都の措置に応じて開放中止や開放条件の制限を設けて実施したことによる減額。	△ 2,636
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○武蔵野地域学長懇談会事業	4.縮小	五大学寄付講座の一部中止、五大学正規科目聴講料補助金の申請減及び学長懇談会の中止による減額。	△ 5,109
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○土曜学校事業	4.縮小	サイエンスクラブやピタゴラスクラブ等の応募人数、回数を縮小し、開催したことによる減額。	△ 976
一般	10	5	1	生涯学習スポーツ課	○子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業	4.縮小	子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金応募数減による減額。	△ 2,775
一般	10	5	2	図書館	○一般管理経費	3.継続	手指消毒用アルコール等の消耗品を購入した。	494
一般	10	5	2	図書館	○一般管理経費	5.中止・延期	図書館運営委員会委員の視察の中止による減額。	△ 12

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
一般	10	5	3	生涯学習スポーツ課	○市民会館自主事業	4.縮小	「親子の教室」の回数を減らして実施したことによる減額。	△ 304
一般	10	5	4	生涯学習スポーツ課	○一般管理経費(武蔵野ブレイス)	4.縮小	一部の事業を中止、または日程・定員等を変更して実施したことによる指定管理委託料の減額。	△ 29,478
一般	10	6	1	生涯学習スポーツ課	○市民体育大会事業	4.縮小	春の市民体育大会、秋の市民体育祭について、一部の競技を中止したことによる減額。	△ 3,096
一般	10	6	1	生涯学習スポーツ課	○各種体育事業	4.縮小	ファミリースポーツフェア、市民スポーツフェスティバル、各種大会選手派遣事業等が中止となったことによる減額。	△ 4,710
一般	10	6	2	生涯学習スポーツ課	○体育施設一般管理経費	4.縮小	体育施設の休場、開場時間短縮等に伴うスポーツ教室事業、イベントなどの中止による指定管理料の減額。	△ 124,066
一般	10	6	3	生涯学習スポーツ課	○市民スポーツデー事業	4.縮小	5、9、10、2月の実施中止による減額。	△ 875
一般	10	6	3	生涯学習スポーツ課	○四中温水プール開放事業	4.縮小	学校施設開放(団体開放)は11月のみ実施(通常は4～11月)し、夏季の個人開放を中止したことによる減額。	△ 5,077

■ 歳出(国民健康保険事業会計)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
国保	2	7	1	保険年金課	○傷病手当金	3.継続	コロナ感染により給与所得が減少した国保加入者の傷病手当金の支給(令和2年度からの継続実施)	1,029

■ 歳出(介護保険事業会計)

会計	款	項	目	課名	大事業名	区分	内 容	影響額(千円)
介護	3	1	1	高齢者支援課	○一般介護予防事業費	3.継続	介護普及啓発事業で従来のリーフレットの作成に加え、令和2年度に作成した在宅でできるフレイル予防動画のホームページへの掲載を継続した。	198
介護	3	1	1	高齢者支援課	○一般介護予防事業費	5.中止・延期	高齢者食事学事業の料理講習会等を休止したことによる減額。	△ 1,928
介護	3	1	1	高齢者支援課	○一般介護予防事業費	6.代替	高齢者食事学事業の料理講習会等の休止の代替として、高齢者向けのテレビと栄養に関する知識を掲載したチラシの発行や、高齢者向けテレビ動画の配信を実施した。	515
介護	3	1	1	高齢者支援課	○包括的支援事業・任意事業費	5.中止・延期	家族介護支援事業について、緊急事態宣言期間中は原則休止したことに加え、一部の事業所で事業を中止したことによる減額。	△ 823

令和3年度決算における新型コロナウイルス感染症の影響額について（歳入の内訳）

■歳入（一般会計）

会計	款	歳入科目名称（細節）	課名	内 容	影響額(千円)
一般	1	都市計画税(現年課税分)	市民税課	税率を1/2にする減税措置等(令和3年度に限る)。	△ 1,360,538
一般	1	市民税(個人)	納税課	徴収猶予による収入未済(猶予中)。	△ 7,811
一般	1	市民税(法人)	納税課	徴収猶予による収入未済(猶予中)。	△ 392
一般	1	固定資産税(土地家屋)	納税課	徴収猶予による収入未済(猶予中)。	△ 1,439
一般	1	固定資産税(償却資産)	納税課	徴収猶予による収入未済(猶予中)。	△ 96
一般	1	都市計画税	納税課	徴収猶予による収入未済(猶予中)。	△ 180
一般	12	民間保育所等利用者負担(保育料)徴収金 現年度分	子ども育成課	新型コロナウイルス感染症の影響により欠席した日数に応じ、保育料を減額。	△ 6,572
一般	13	自然の村使用料	児童青少年課	開村期間の調整短縮による利用料の減収。	△ 1,206
一般	13	市民文化会館使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 7,905
一般	13	芸術劇場使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 1,208
一般	13	公会堂使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 1,053
一般	13	スイングホール使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 1,098
一般	13	吉祥寺美術館観覧料	市民活動推進課	施設閉館(令和3年4月25日から5月31日まで)等による観覧料収入の減額。	△ 183
一般	13	吉祥寺美術館使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 258

会計	款	歳入科目名称(細節)	課名	内 容	影響額(千円)
一般	13	商工会館施設使用料	産業振興課	緊急事態宣言等による貸会議室利用の減少及び使用料の全額還付による減額。	△ 2,397
一般	13	松露庵使用料	市民活動推進課	緊急事態宣言等による施設使用の減少による使用料収入の減額。	△ 489
一般	13	吉祥寺シアター使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 1,444
一般	13	かたらいの道 市民スペース使用料	市民活動推進課	施設使用の取消及び公演・展覧会の開催のための施設使用料の減額制度(令和2年6月7日～)による使用料収入額の減。	△ 103
一般	13	男女平等推進センター会議室使用料	市民活動推進課	新型コロナウイルス感染症防止を事由とした会議室予約取消に対する使用料を還付した。	△ 2
一般	13	公立保育所利用者負担(保育料)徴収金 現年度分	子ども育成課	新型コロナウイルス感染症の影響により欠席した日数に応じ、保育料を減額。	△ 703
一般	13	市民会館使用料	生涯学習スポーツ課	開館時間短縮のための利用自粛による施設使用料の減収。	△ 215
一般	13	ひと・まち・情報創造館 武蔵野ブレイス使用料	生涯学習スポーツ課	武蔵野ブレイスの開館時間短縮・貸出施設定員制限による施設使用料の減額。 ※影響額の算出が難しく、減額を旨込んだ上で令和3年度予算を策定していたため、影響額としては令和2年度と令和3年度の予算額の差額を表示している。	△ 11,999
一般	13	保健体育施設使用料	生涯学習スポーツ課	市立体育施設の休場、開場時間短縮、人数制限による減収。	△ 15,263
一般	14	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金	健康課	新型コロナウイルスワクチン接種事業に対する国の負担金。	1,015,070
一般	14	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	企画調整課	新型コロナウイルス感染症に対する地方公共団体の取組みを支援するための補助金。	475,264
一般	14	保育対策総合支援事業費補助金	子ども育成課	市内認可保育施設等に対して、職員が感染症対策の徹底を図りながら保育を継続的に実施していくために必要な経費にかかる補助金の増額。	15,011
一般	14	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(児童福祉費)	子ども子育て支援課	子育て世帯等臨時特別交付金事業に伴う事業費に関する国庫補助金の増額。	136,557
一般	14	子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金	子ども子育て支援課	子育て世帯等臨時特別支援事業に伴う事業費に関する国庫補助金の増額。	1,417,383
一般	14	新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(生活保護費)	生活福祉課	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給にかかる交付金。	75,708

会計	款	歳入科目名称(細節)	課名	内 容	影響額(千円)
一般	14	住民税非課税世帯等臨時特別給付金	地域支援課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業に係る事務費に対する補助金の増額。	55,695
一般	14	住民税非課税世帯等臨時特別給付金	地域支援課	住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業に係る事業費に対する補助金の増額。	1,215,000
一般	14	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金	健康課	新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保するための経費に対する補助金。	1,365,597
一般	14	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	指導課	セカンドスクールについて、中止・延期実施、泊数を減らしたの短縮実施、実施地を変更した代替学習が行われた結果、補助対象経費が減少した。	△ 18,011
一般	14	学校保健特別対策事業費補助金	教育支援課	各学校が感染症対策を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取り組みを実施するに当たり、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費の補助。	12,041
一般	14	文化芸術振興費補助金	生涯学習スポーツ課	文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備のための消耗品・備品等の購入費に関する補助金。	54
一般	15	東京2020大会開催関連事業費補助金	企画調整課	事業縮小・中止などによる減額。	△ 9,374
一般	15	私立幼稚園新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金	子ども育成課	私立幼稚園に対して、子供を安心して育てることができている環境を整備することを目的として補助金を交付するための増額。	2,198
一般	15	区市町村との共同による感染拡大防止対策推進事業費補助金	安全対策課	自宅療養者等に対する食料品・日用品等の支援及び来街者や市民に対する感染拡大防止のための啓発に関する補助金の増額。	17,778
一般	15	区市町村との共同による感染拡大防止対策推進事業費補助金	高齢者支援課	PCR検査等の感染拡大防止対策事業にかかる補助金。	22,166
一般	15	新型コロナウイルス感染症に対応した自殺防止対策事業補助金	健康課	新型コロナウイルス感染症に対応するために拡充した自殺防止対策事業に対する補助金。	2,046
一般	15	在宅要介護者の受入体制整備事業補助金	高齢者支援課	感染症対応レスキューヘルパーにかかる補助金。	622
一般	15	新型コロナウイルス感染症による保育施設等の臨時休園等に対する支援事業補助金	子ども育成課	認証保育所に対して、市の要請や同意を受けて臨時休園した場合や児童が登園自粛した日数に応じて保育料を軽減した場合の経費にかかる都補助金。	2,000
一般	15	保育所等の臨時休園等にに伴うベビーシッター利用支援事業(都事業)の利用者について、ベビーシッターが利用者宅まで通うための交通費補助にかかる都補助金	子ども育成課	保育所等の臨時休園等にに伴うベビーシッター利用支援事業(都事業)の利用者について、ベビーシッターが利用者宅まで通うための交通費補助にかかる都補助金。	95
一般	15	生活困窮者自立支援機能強化事業補助金	生活福祉課	自立相談支援機関の強化及び市独自事業の事務費にかかる補助金。	4,984

会計	款	歳入科目名称(細節)	課名	内 容	影響額(千円)
一般	15	新型コロナウイルス感染症区市町村緊急包括支援補助金(医療分)	健康課	時間外・休日のワクチン接種会場への医療従事者派遣事業への補助金。	53,409
一般	15	雨水流出抑制補助金	下水道課	雨水浸透施設助成金の執行が減少したことによる減額。	△ 4,645
一般	15	生活応援事業事務費補助金	産業振興課	東京都の生活応援事業の事務費に対する補助金。	3,067
一般	15	生活応援事業事業費補助金	産業振興課	東京都の生活応援事業の事業費に対する補助金。	51,717
一般	15	中学校部活動指導員配置事業補助金	指導課	部活動の中止や活動内容の制限により、指導時数が減少したことによる減額。	△ 1,981
一般	15	統計調査員確保対策事業事務委託金	総務課	研修を中止したことに伴う委託金の減額。	△ 68
一般	15	建設工事統計調査事務委託金	総務課	調査員調査を実施せず、郵送による調査としたことに伴う委託金の減額。	△ 40
一般	15	経済センサス事務委託金	総務課	調査員報酬単価減額等に伴う委託金の減額。	△ 5,567
一般	15	東京都教育委員会研究指定事業委託金	指導課	講師を招聘する研修会・研究会が減少したことによる委託金の減額。	△ 1,663
一般	18	財政調整基金繰入金	財政課	新型コロナウイルス感染症対策の財源として財政調整基金を取り崩した。	500,000
一般	20	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成等事業助成金	企画調整課	事業縮小・中止などによる減額。	△ 2,000
一般	20	行事参加者負担金	児童青少年課	行事参加者負担金(夏期行事@100円×15名×2回×3日)。	△ 9
一般	20	三多摩は一つなり交流事業補助金	ごみ総合対策課	三多摩は一つなり交流事業の中止に伴う補助金の減額。	△ 500
一般	20	自然の村利用促進バス参加費	児童青少年課	自然の村利用促進バス運行を一部中止したことによる減額。	△ 74

■歳入（国民健康保険事業会計）

会計	款	歳入科目名称（細節）	課名	内容	影響額(千円)
国保	1	医療給付費現年課税分、後期高齢者支援金分現年課税分、介護納付金課税分、医療給付費滞納繰越分、高齢者支援金分滞納繰越分、介護納付金分滞納繰越分	保険年金課	新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免。	△ 16,131
国保	1	国民健康保険税	納税課	徴収猶予による収入未済(猶予中)。	△ 10,138
国保	2	災害臨時特例補助金	保険年金課	新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免への6/10補助(災害臨時特例補助金のうち、当該減免への充当額分)。	10,141
国保	3	特別調整交付金	保険年金課	傷病手当金の支出実績への10/10交付金(特別調整交付金のうち、傷病手当金への充当分)。	923
国保	3	特別調整交付金	保険年金課	新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免の支出実績への4/10交付(特別調整交付金のうち、当該減免への充当額分を含む)。	7,008

■歳入（後期高齢者医療会計）

会計	款	歳入科目名称（細節）	課名	内容	影響額(千円)
後期	1	現年度分特別徴収保険料、現年度分普通徴収保険料	保険年金課	新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免。	△ 872

■歳入（介護保険事業会計）

会計	款	歳入科目名称（細節）	課名	内容	影響額(千円)
介護	3	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	高齢者支援課	高齢者食事業の料理講習会等を休止したことに伴う補助金(国)の減額。	△ 354
介護	3	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	高齢者支援課	家族介護支援事業の実施事業所減等に伴う補助金(国)の減額。	△ 317
介護	5	地域支援事業交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)	高齢者支援課	高齢者食事業の料理講習会等を休止したことに伴う補助金(都)の減額。	△ 177
介護	5	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	高齢者支援課	家族介護支援事業の実施事業所減等に伴う補助金(都)の減額。	△ 159

■歳入（水道事業会計）

会計	款	歳入科目名称（細節）	課名	内 容	影響額(千円)
水道事業会計	-	水道料金	水道部	一時的に支払いが困難となった方を対象に最長4か月の支払い猶予。 3/31現在 57件 上水266,600円	△ 267

■歳入（下水道事業会計）

会計	款	歳入科目名称（細節）	課名	内 容	影響額(千円)
下水道事業会計	-	下水道使用料	下水道課	一時的に支払いが困難となった方を対象に最長4か月の支払い猶予。 3/31現在 57件 下水110,192円	△ 110

